

2024 年度版

あいち観光戦略に基づく
観光振興施策の実施状況

(2023 年度年次報告書)



本書は、愛知県観光振興基本条例第 9 条第 6 項の規定に基づき、愛知県観光振興基本計画に定められた観光振興に関する施策の 2023 年度の実施状況に関する報告を行うものです。

目次

あいち観光戦略 2021-2023 の概要	1
1 数値目標の達成状況	3
(1) 観光消費額	4
(2) 観光入込客数【量】	5
(3) 観光消費額単価【質】	7
2 2023 年度の観光振興施策の実施状況	10
柱1 あいち「ツウ」リズムの推進	10
柱2 受入れ体制の整備・充実	21
柱3 観光交流拠点としての機能強化	23
柱4 MICE の誘致・開催、Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)の活用	27
柱5 持続可能な観光の実現	32
柱6 ウィズコロナ・ポストコロナへの対応	34
3 2024 年度の主要な観光振興施策	35
展開分野Ⅰ 地域資源の観光コンテンツ化	35
展開分野Ⅱ PR・プロモーション	38
展開分野Ⅲ 受入環境の整備	42
展開分野Ⅳ 観光地経営体制の強化	44
展開分野Ⅴ MICE の誘致・開催に向けた取組強化	47

* 本報告書は、主な事業を抜粋して掲載しているため、全ての施策、事業が掲載されているものではありません。

あいち観光戦略 2021-2023 の概要

1 基本的な事項	戦略の目的	愛知県観光振興基本条例が掲げる「魅力ある活力に満ちた地域社会の実現及び県民生活の向上」に向けて、観光関連産業の振興を図る。
	戦略の位置付け	① 条例に定める「観光振興に関する基本的な計画」。 ② 「あいちビジョン2030」の観光振興分野の個別計画。
	戦略の期間	2021年度～2023年度(3か年)

2 愛知の観光を取り巻く状況

2030年頃の社会経済情勢の展望

- ◆ 人口減少の進行・人生100年時代の到来
- ◆ 第4次産業革命の進展
- ◆ 価値観・ライフスタイルの多様化
- ◆ リニア開業による首都圏と中京圏の一体化
- ◆ 世界経済の多極化と海外旅行者数の増加
- ◆ SDGsの理念の定着
- ◆ 大規模な自然災害のリスクの増大や感染症への意識の高まり

2030年頃までの大規模事業・プロジェクト

- ◆ 2021年 東京オリンピック・パラリンピック開催
- ◆ 2022年秋 ジブリパーク開業
- ◆ 2025年 大阪・関西万博開催
- ◆ 2026年 第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)開催
- ◆ 2027年度 リニア中央新幹線(品川・名古屋間)開業

観光の質的・量的変化

- ◆ 訪日旅行者の地方への拡散
- ◆ 個人の趣味・嗜好の多様化・細分化・高度化と旅行のニーズの変化
- ◆ 旅マエ・旅ナカ・旅アトのすべての段階におけるデジタルの台頭
- ◆ 新型コロナウイルス感染症による旅行需要の急減と旅行スタイルの変化

「あいち観光戦略2016-2020」の評価・課題

- ◆ 県内各地における観光への取組の加速
- ◆ 訪日旅行者の増加
- ◆ 愛知デスティネーションキャンペーン(愛知DC)によるレガシイの創出
- ◆ 大規模事業・プロジェクトの進展による観光振興
- ◆ 滞在日数や魅力度の伸び悩み
- ◆ 新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた観光の再生

取り組むべき課題

人口減少に伴う国内旅行市場の縮小

1人あたり旅行消費額の増額

第4次産業革命の進展

デジタル化への対応

価値観やライフスタイルの多様化

変化(多様化・細分化・高度化)する旅行者のニーズへの対応

感染症の拡大による意識・行動の変化

愛知DCの成果や大規模事業・プロジェクト(ジブリパーク等)の活用

愛知DCによる取組体制の構築

観光コンテンツの高付加価値化

大規模事業・プロジェクトの進展

観光の再生、県民市場の開拓

来県者数の増、滞在日数の伸び悩み

感染症の影響による観光需要の減少

取組の方向

- ◆ 愛知ならではの多様な魅力を「ツウ」な魅力*として磨き上げ、デジタルも活用した的確なマーケティングにより、多様化する旅行ニーズに対応しつつ、観光コンテンツとしての高付加価値化を図る。
- ◆ 魅力ある地域資源、充実した広域交通基盤、世界有数のモノづくり産業の集積など、愛知の独自の強みを活かし競争力の向上を図る。

※「ツウ」な魅力：誰でも、何度でも楽しめる奥深い魅力

3
目指す
べき姿


～“Heart” of JAPAN セカンドステージ～
あいち「ツウ」リズム™を推進し、独自の強みを発揮する「観光県」

4
施策立案・実施にあたって
の基本的な方針

独自の魅力・強みの強化 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 愛知ならではの資源の深掘り・磨き上げ ◆ ジブリパーク開業効果の活用 ◆ リニア開業効果の活用の検討 	地域連携・県民参加とSDGsの実践 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 市町村や地域の観光関係団体との連携 ◆ 県民参加の促進 ◆ 多様な主体との連携 ◆ SDGsの理念に基づく持続可能な観光の実現
EBPMの実践とデジタルの活用 <ul style="list-style-type: none"> ◆ エビデンスに基づく施策立案・実施と分析・評価 ◆ デジタルを活用した効果的なPR・プロモーション との確な効果測定等 	ウィズコロナ・ポストコロナへの適応 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 新しい生活様式・新しい旅行スタイルへの対応 ◆ 観光の再生に向けた取組

5
施策の柱

① あいち「ツウ」リズム™の推進

【「ツウ」な魅力向上】 <ul style="list-style-type: none"> 歴史(武将・城郭・街道等) 産業(製造業・農林水産業・伝統産業等) 自然(海・山・離島等) 食(なごやめし・醸造等) 山車・祭(からくり・花祭等) …など 	趣味・嗜好による ターゲット設定 	【効果的なPR・プロモーション】 <ul style="list-style-type: none"> デジタルの活用 運輸機関・旅行者・メディアとの連携 海外レップの活用 特化型イベントの開催・出展・支援 県民による魅力発信 …など
---	--	--

ニーズへの対応・高付加価値化

② 受入れ体制の整備・充実

- ◆ 多言語化の促進等による利便性の向上
- ◆ 多様な宗教・信条等への対応支援
- ◆ 多様な旅行・宿泊ニーズへの対応
- ◆ ユニバーサルツーリズムの推進
- ◆ 旅行者の安全・安心の確保

③ 観光交流拠点としての機能強化

- ◆ 周遊観光・広域観光の推進
- ◆ 航空路線・外航クルーズ船の誘致
- ◆ モビリティ・マネジメント
- ◆ 交通インフラの整備

④ MICEの誘致・開催、Aichi Sky Expoの活用

- ◆ 国際会議・展示会の誘致・開催
- ◆ イベントの誘致・開催
- ◆ インセンティブツアーの誘致
- ◆ スポーツ大会の招致・開催

⑤ 持続可能な観光の実現

- ◆ 「日本版持続可能な観光ガイドライン (JSTS-D)」の普及
- ◆ 観光人材の確保・育成
- ◆ 観光イノベーションの促進
- ◆ 取組体制の構築

⑥ ウィズコロナ・ポストコロナへの対応

- ◆ 安全・安心の強化と感染状況に応じた誘客
- ◆ 旅行スタイルの変化への対応と観光コンテンツの高付加価値化

6
数値目標

観光消費額 1.0兆円 うち外国人 2,500億円	観光入込客数 全体1.2億人回 うち外国人380万人回	観光消費額単価 日本人 6,450円 外国人 65,790円	来県外国人旅行者数 290万人 延べ宿泊者数 全体2,000万人泊 うち外国人365万人泊 国際会議開催件数 220件
満足度 全体50.0%/外国人50.0% 推奨意向 県民25.0%/県外在住者50.0% 再訪意向 県外在住者100.0%			

各施策のKPI

7
体制



1 数値目標の達成状況

あいち観光戦略において、計画最終年度(2023 年度)の目標として掲げた指標に対する達成状況は、下表のとおりであった。

		【計画策定時】 2019 年 実績	2022 年 実績	2023 年 実績	目標値 (2023 年)
観光消費額	全 体	8,599 億円	6,998 億円	1.0 兆円	1.0 兆円
	外 国 人	2,397 億円	7 億円	1,370 億円	2,500 億円
観光入込客数	全 体	1.2 億人回	0.9 億人回	1.0 億人回	1.2 億人回
	外 国 人	378 万人回	22 万人回	171 万人回	380 万人回
来県外国人旅行者数		287 万人	— *2	118 万人 *2	290 万人
延べ宿泊者数	全 体	1,934 万人泊	1,581 万人泊	1,886 万人泊	2,000 万人泊
	外 国 人	363 万人泊	34 万人泊	201 万人泊	365 万人泊
国際会議開催件数		216 件 (2018 年)	0 件 (2021 年)	25 件 (2022 年)	220 件
観光消費額単価	日 本 人	5,404 円	7,482 円	9,260 円	6,450 円
	外 国 人	63,413 円	3,374 円 *3	80,135 円	65,790 円
満 足 度 (「非常に満足」の割合)	全 体	28.1%	33.4%	36.9%	50.0%
	外 国 人	38.9%	— *4	44.8%	50.0%
推 奨 意 向 (高位層 *1)	県 民	12.4%	17.7%	17.4%	25.0%
	県外在住者	21.2%	23.2%	25.7%	50.0%
再 訪 意 向	県外在住者	83.7%	83.4%	90.9%	100.0%

*1 「愛知の観光をまったく推奨しない」を 0 点、「とても推奨したい」を 10 点とした場合に、9~10 点と回答した層。

*2 来県外国人旅行者数を算出する因子の一つである観光庁「訪日外国人消費動向調査」の「都道府県別訪問率」について、2022 年は、訪問率が公表されていないことから来県外国人旅行者数は欠測。2023 年は 4-12 月期の訪問率のみ公表されていることから、4-12 月期の来県外国人旅行者数を参考値として算出。

*3 観光庁「訪日外国人消費動向調査」の一部が実施されなかったため、2022 年および 2023 年は、愛知県「愛知県観光入込客統計」における推計を参考値として記載。

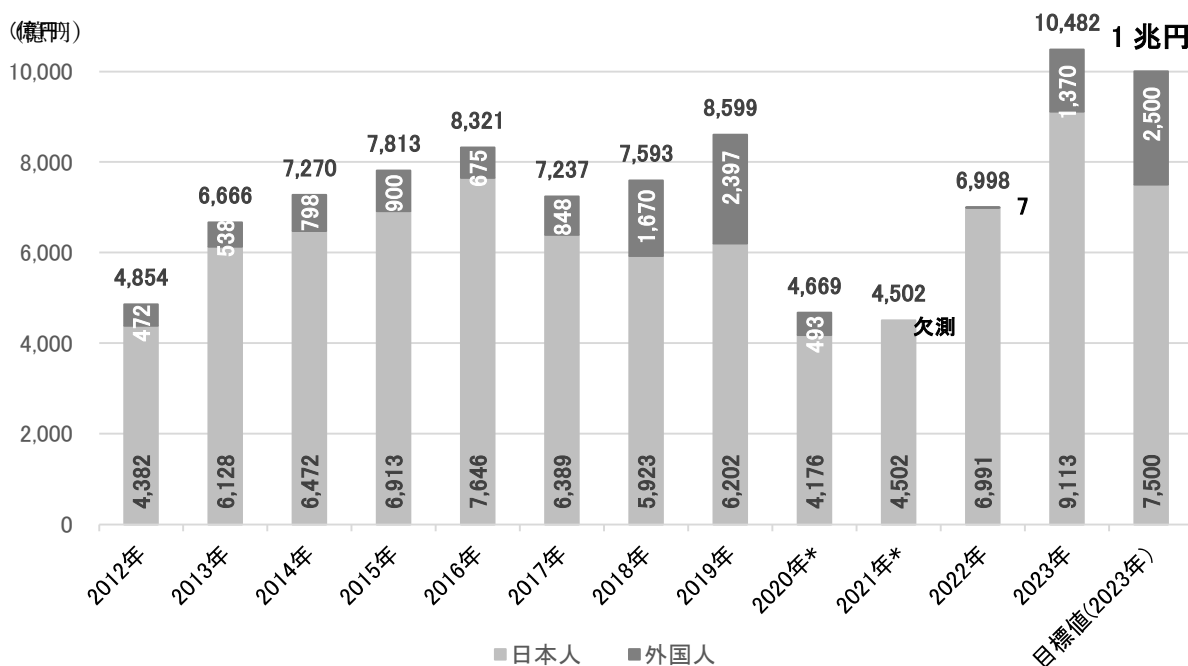
*4 新型コロナウイルス感染症の影響で「満足度(外国人)」を測定する愛知県「愛知県訪日外客動向調査」が実施できなかったため、2022 年度の「満足度(外国人)」は欠測。

KGI(Key Goal Indicator: 重要目標達成指標)達成状況

2023 年の本県の観光は、日本人旅行者については、コロナ禍からの回復傾向が鮮明となり、特に観光消費額はコロナ禍前の 2019 年を大きく上回った。一方、外国人旅行者については、観光消費額、観光入込客数とも 2019 年の水準には戻らなかった。

(1) 観光消費額

外国人の観光消費額は低迷したものの、日本人の観光消費額はコロナ禍前の 2019 年を大きく上回り、全体として目標値を達成した。



出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」、愛知県「愛知県観光入込客統計」より算出。

*2020 年は、県「観光地点パラメーター調査」等が一部実施できなかったことから、2019 年推計値等を参考に年間値を算出。

*2021 年は観光庁「訪日外国人消費動向調査」が一部実施されなかったことから、訪日外国人の観光消費額単価を欠測としている。そのため、観光入込客数と観光消費額単価から算出する観光消費額も算出していない。

【参考】居住地・宿泊/日帰り別観光消費額の推移

日本人旅行者について、県外在住者の観光消費額の伸び幅が県内在住者に比べて大きいことから、行動制限がなくなり、県境を越える移動が活発化したと推察される。

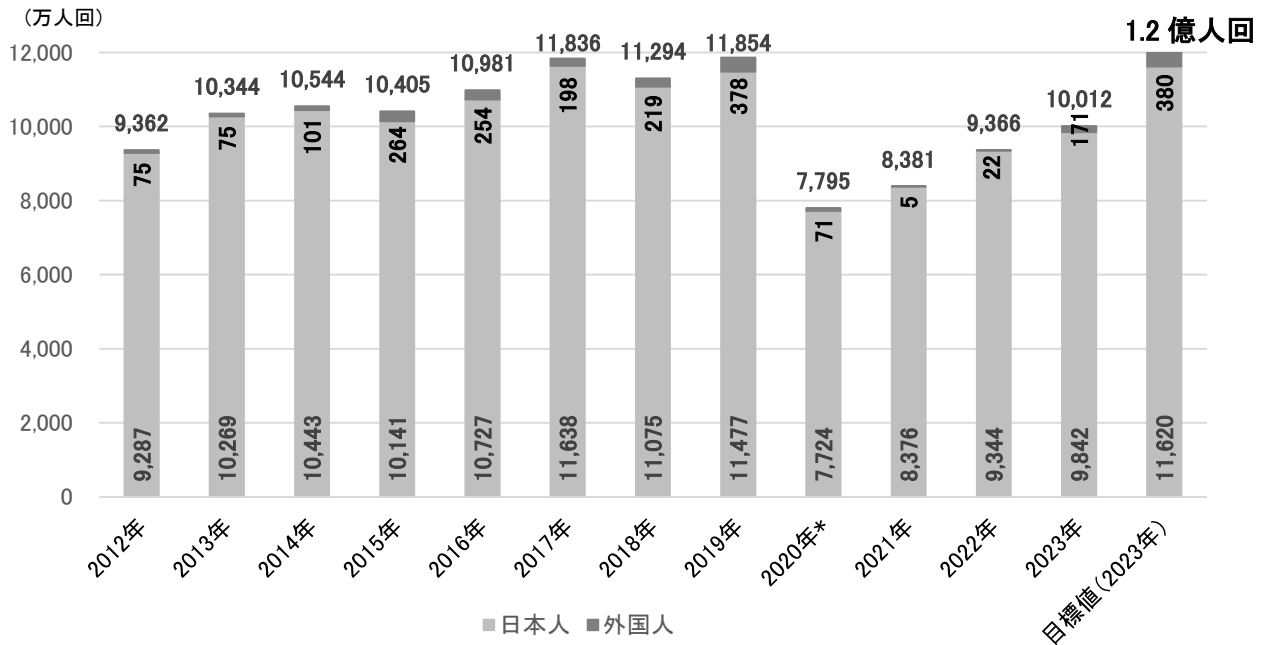
	2022 年(百万円)	2023 年(百万円)	2023/2022 年比
県内在住者・宿泊	126,838	89,012	0.70 倍
県内在住者・日帰り	206,117	235,531	1.14 倍
県外在住者・宿泊	265,152	406,045	1.53 倍
県外在住者・日帰り	100,955	180,708	1.79 倍
訪日外国人・宿泊	749	135,577	181.0 倍
訪日外国人・日帰り	—	1,373	—

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」、愛知県「愛知県観光入込客統計」「愛知県訪日外客動向調査」より算出。

*2022 年の「訪日外国人・日帰り」の数値は、新型コロナウイルス感染症の影響により必要な調査が実施できなかったため、欠測。

(2) 観光入込客数【量】

観光入込客数は、日本人、外国人とも前年を上回ったが、ともに目標値には達しなかった。外国人の回復の遅れに加え、日本人も、構成割合が大きい県内在住者の日帰り入込客数（5,575万人回）が、コロナ禍前の2019年（6,659万人回）の84%程度にとどまった。

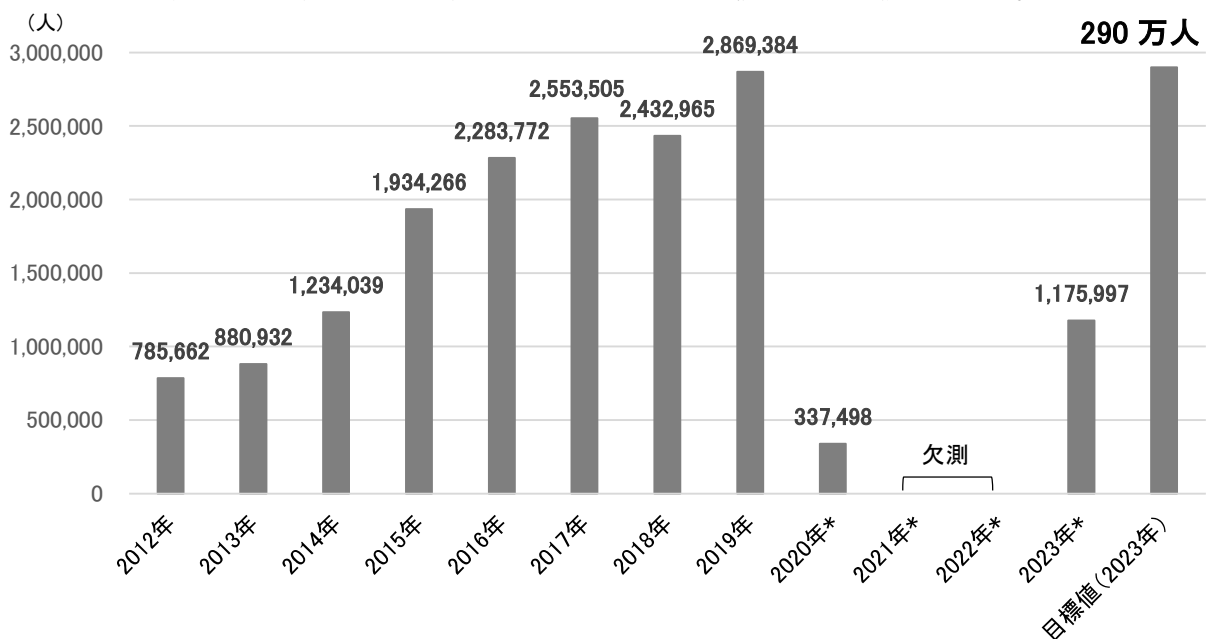


出典：愛知県「愛知県観光入込客統計」

*2020年は、県「観光地点パラメーター調査」等が一部実施できなかったことから、2019年推計値等を参考に年間値を算出している。

○来県外国人旅行者数

2023年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、4-12月期の訪問率のみ公表されていることから、4-12月期の来県外国人旅行者数を参考値として記載している。



出典：日本政府観光局(JNTO)「訪日外客統計」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」より算出。

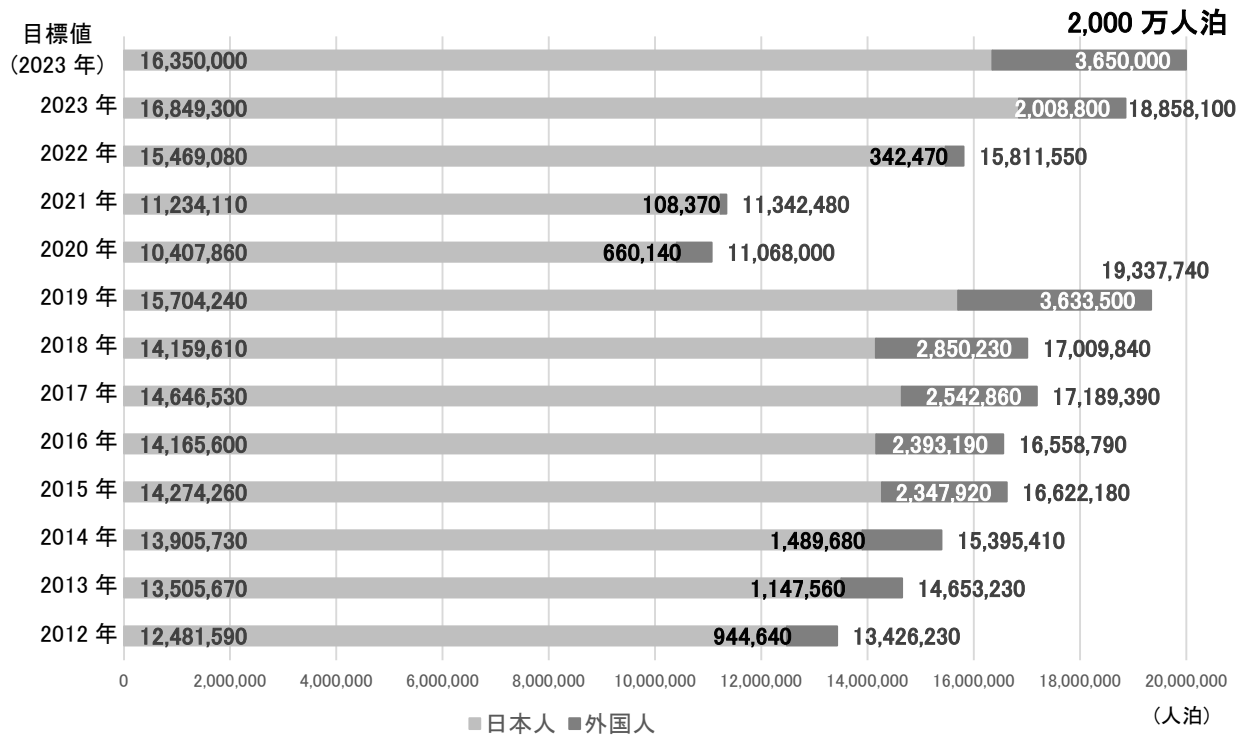
*来県外国人旅行者数を算出する因子の一つである観光庁「訪日外国人消費動向調査」の「都道府県別訪問率」について、2020年は1-3月期の訪問率のみ公表されていることから、1-3月期の訪問率のみで算出。

*2021年及び2022年は、訪問率が公表されていないことから欠測。

*2023年は、4-12月期の訪問率のみ公表されていることから、4-12月期の来県外国人旅行者数を参考値として算出。

○ 延べ宿泊者数

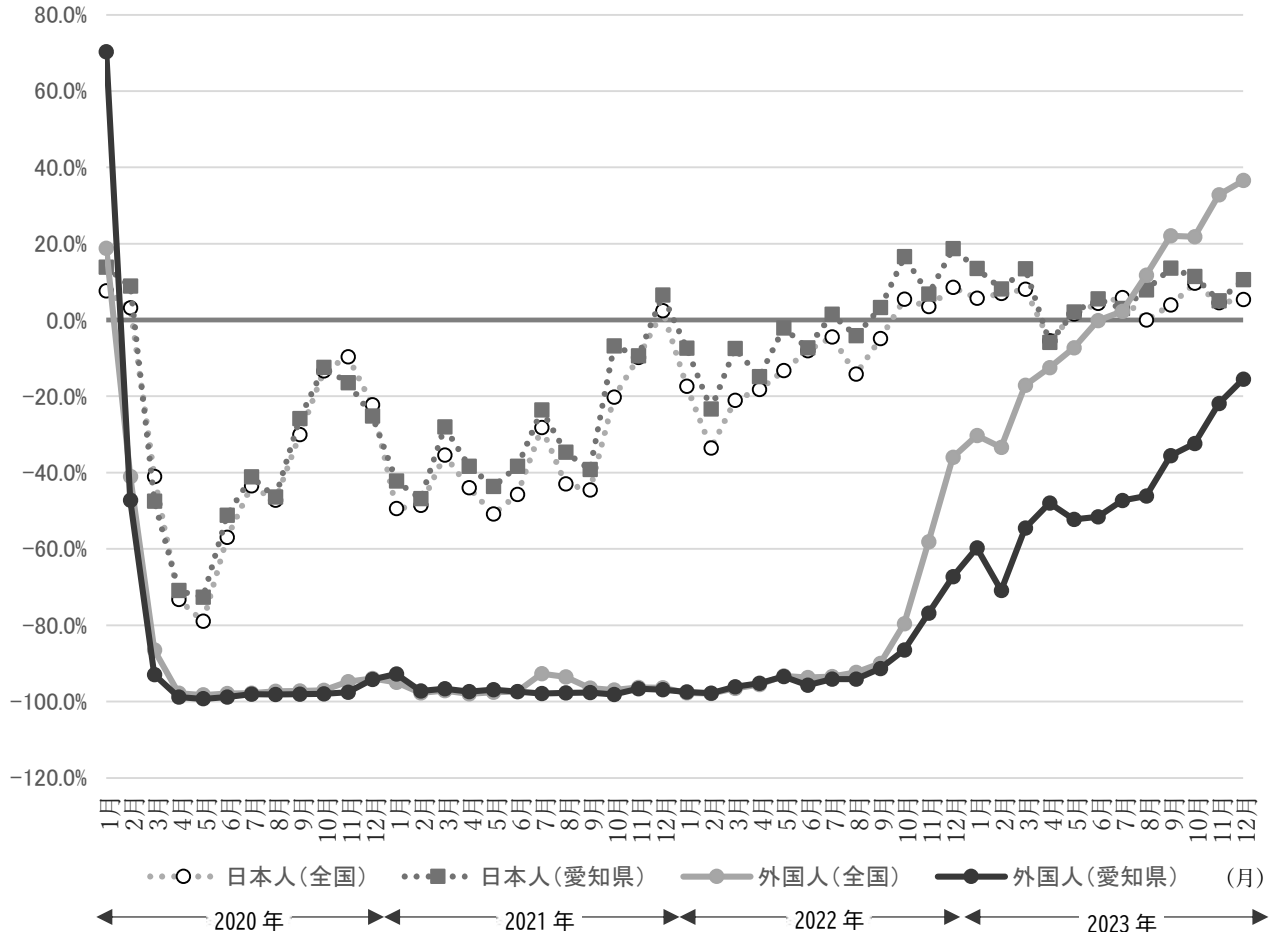
日本人の延べ宿泊者数は、コロナ禍前の2019年を上回った。



【参考】延べ宿泊者数の2019年同月比の推移

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

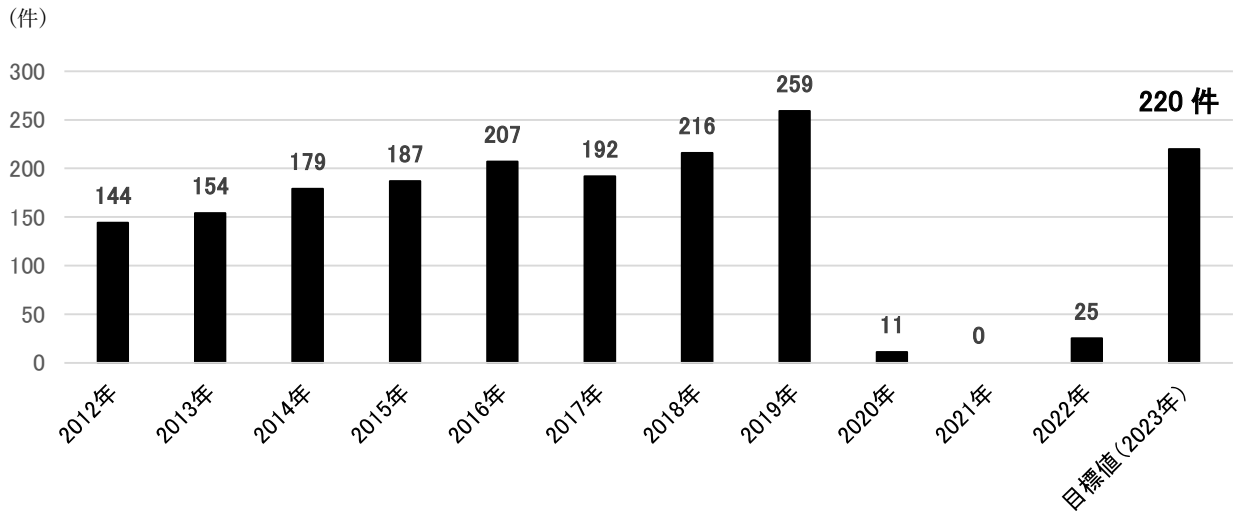
日本人の延べ宿泊者数は、2022年9月から、ほぼ毎月2019年水準を超えている。



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

○国際会議開催件数

愛知県における国際会議の開催件数は増加傾向にあったが、2020年以降は、新型コロナウイルス感染症による往來の制限を受け、大幅に件数が減少し、まだ十分に回復していない。

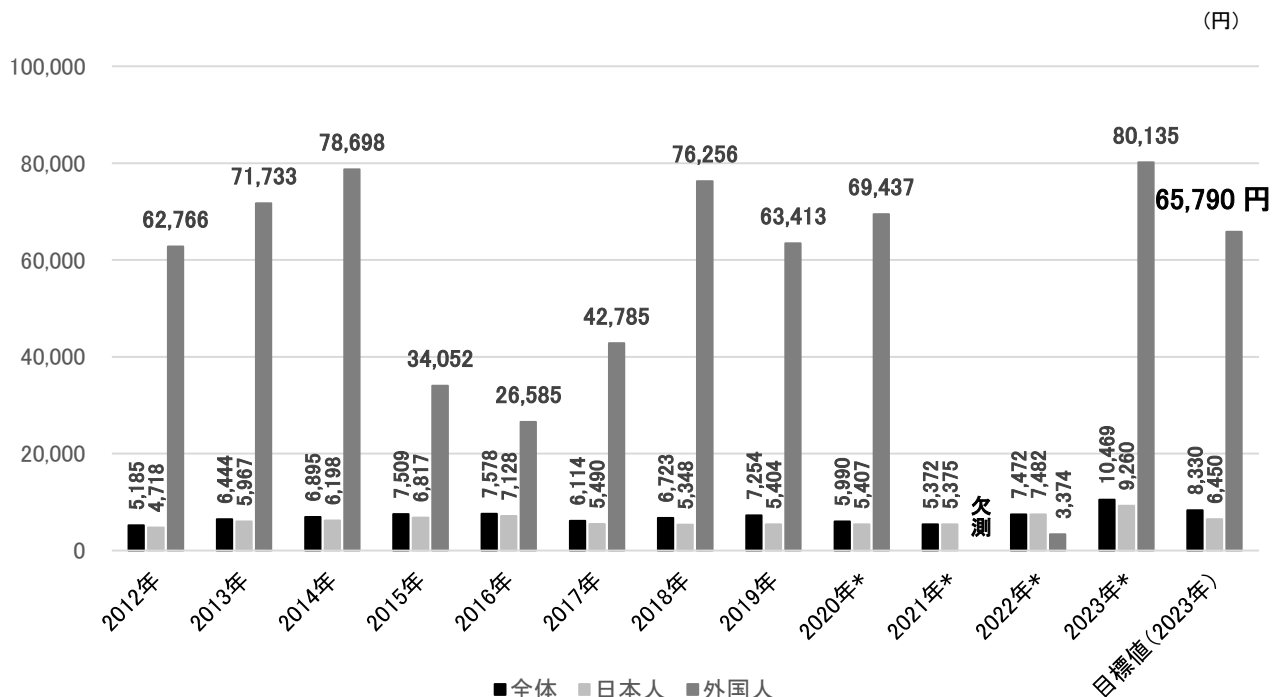


出典：日本政府観光局(JNTO)「国際会議統計」

*国際会議とは、国際機関・国際団体または国家機関・国内団体(民間企業を除く)が主催する、参加者総数が50名以上、参加国が3か国以上の会議(日本政府観光局(JNTO)の「国際会議選定基準」)。

(3) 観光消費額単価【質】

観光消費額単価は、日本人、外国人とも目標値を達成した。特に外国人については、目標値を大きく上回った。円安の進展に加え、物価の高騰も影響したと推察される。



出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」、愛知県「愛知県観光入込客統計」

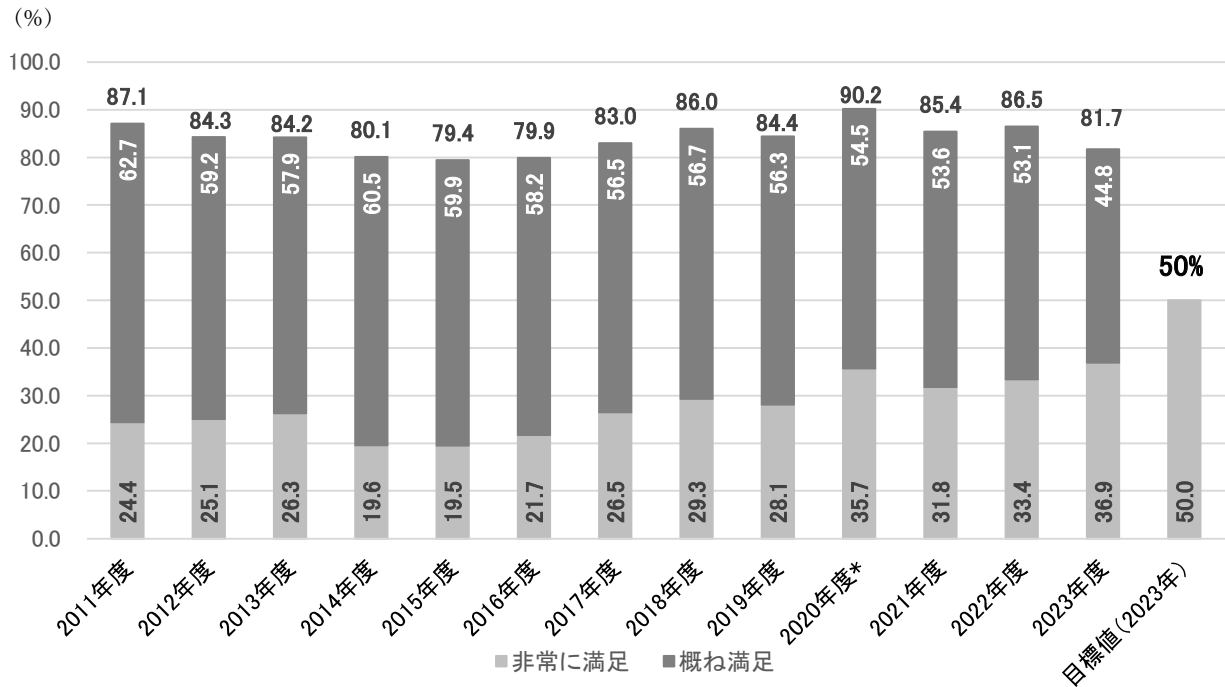
*2020年は、愛知県「観光地点パラメーター調査」等が一部実施できなかったことから、2019年推計値等を参考に年間値を算出。

*2021年は、観光庁「訪日外国人消費動向調査」及び愛知県「愛知県観光入込客統計」が一部実施できなかったことから、外国人の観光消費額単価は欠測。

*2022年および2023年の外国人の観光消費額単価は、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の一部が実施されなかったため、愛知県「愛知県観光入込客統計」における推計を参考値として記載。

○満足度(全体)

「非常に満足」は過去最高となったが、目標値には達しなかった。一方、「概ね満足」が前年度に比べ減少し、両回答の合計値も減少した。

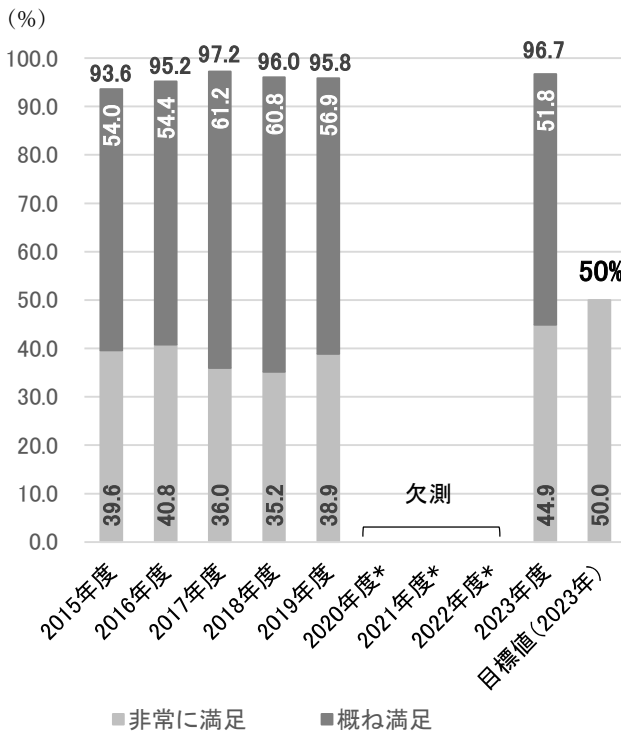


*2020年度は、10-12・1-3月の2期のみで満足度を算出。

出典:愛知県「観光地点パラメーター調査」

○満足度(外国人)

「非常に満足」は過去最高となったが、目標値には達しなかった。

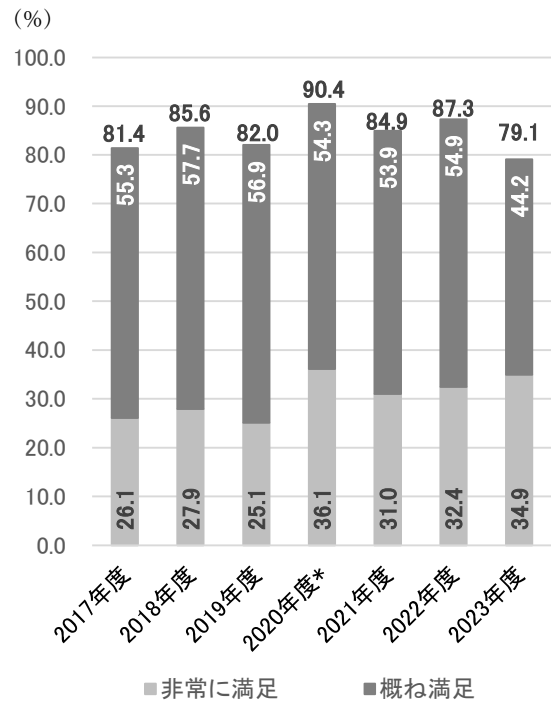


出典:愛知県「愛知県訪日外客動向調査」

*2020~2022年度は、愛知県「愛知県訪日外客動向調査」が実施できなかったことから欠測。

【参考:県内在住者満足度の推移】

「非常に満足」は微増であったが、「概ね満足」はやや大きく減少した。

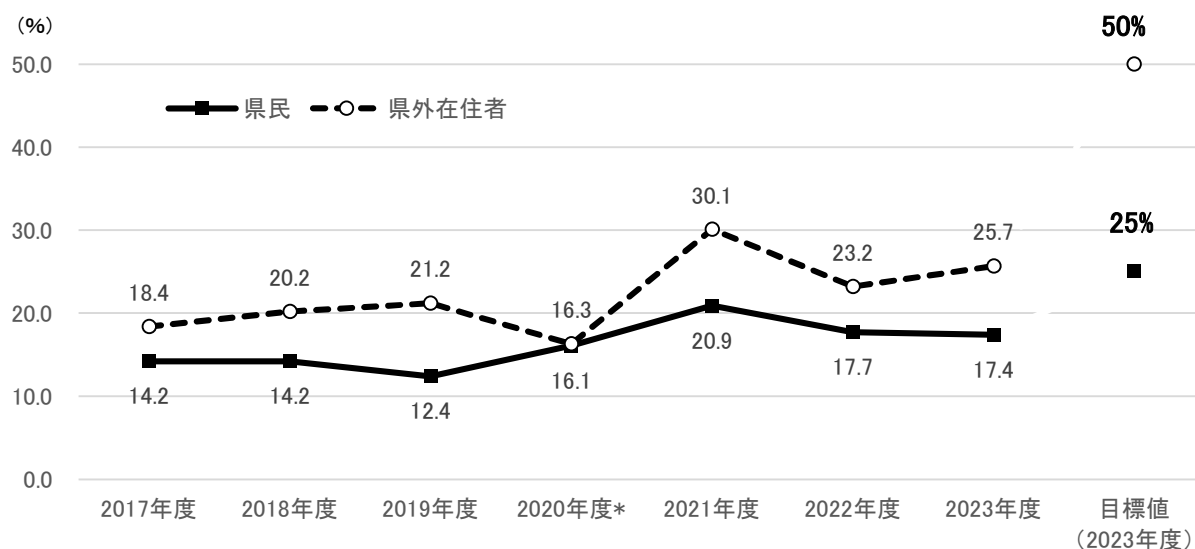


出典:愛知県「観光地点パラメーター調査」

*2020年度は、10-12・1-3月の2期のみで満足度を算出。

○推奨意向

2021年度以降、それ以前に比べて若干の高まりを持って推移してきたが、目標値とは依然として乖離がある。

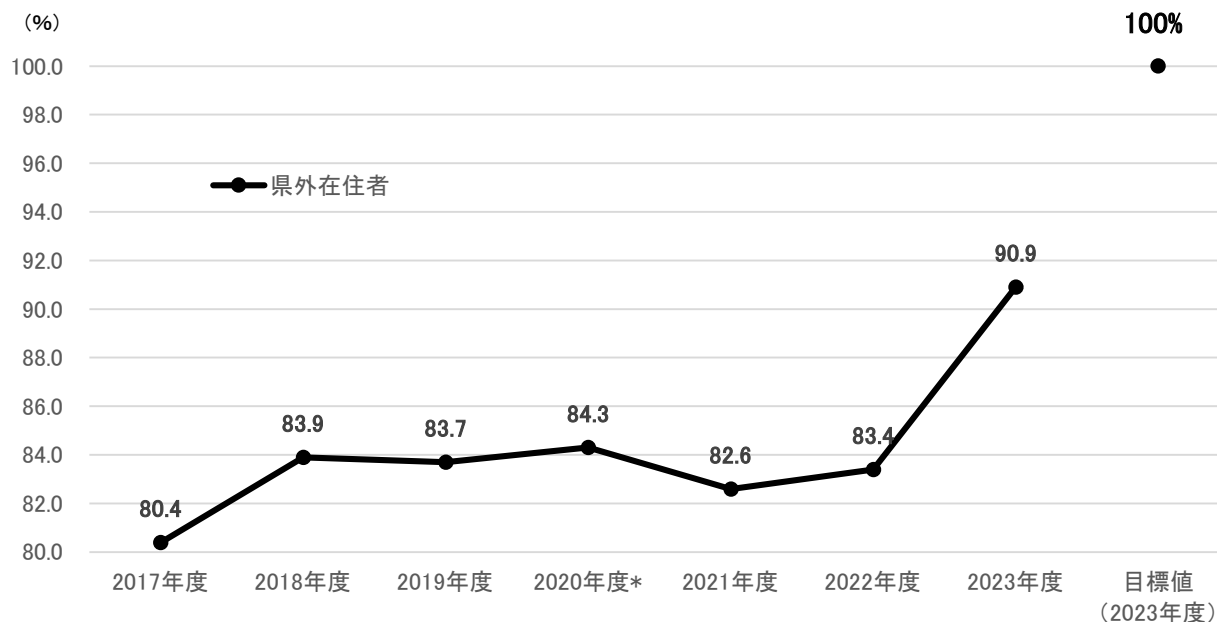


*2020年度は、10-12・1-3月の2期のみで推奨意向を算出。

出典:愛知県「観光地点パラメーター調査」

○再訪意向

県外在住者の再訪意向は、前年度から7.5ポイント上昇し、過去最高となった。



*2020年度は、10-12・1-3月の2期のみで再訪意向を算出。

出典:愛知県「観光地点パラメーター調査」

2 2023 年度の観光振興施策の実施状況

柱 1 あいち「ツウ」リズムの推進

(1) 愛知ならではの「ツウ」な魅力向上

① 地域資源の着地型観光プログラム化の促進

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課)

- ・ ジブリパークチケット販売サイト内に開設した、来園者向け観光情報等発信特設サイト「ジブリパークのある愛知への旅」の運営、掲載するプログラムの造成(詳細 P23)。

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課)

- ・ 市町村や地域観光協会等と意見交換を実施して、地域資源の発掘等を行い、観光プログラムを造成・販売。

《実績》

造成プログラム 26 件
販売数 133 件

- ・ JR 東海との協業事業である「あいち冷やし旅」の一環として、冷やしスイーツチケットを造成。

《実績》

利用可能期間:2023.7-2023.9
販売数 1,829 件

② 旅行者の興味・関心に合わせた着地型観光プログラムの開発促進

【観光施設費等補助金】(観光振興課)

- ・ ジブリパーク開園、大河ドラマ「どうする家康」の放送に伴い、2022～2024 年度の 3 か年の時限付きで、着地型旅行商品の造成・販売事業及びブランディング事業に対する補助事業を実施。

【もりの学舎】(環境活動推進課)

- ・ 愛・地球博記念公園の環境学習施設「もりの学舎」及びその周辺フィールドにおいて、インタープリターによる自然体験や工作などの環境学習プログラムを実施。

【インバウンド需要に対する県産農林水産物等の PR】(食育消費流通課)

- ・ 農業観光ルートと地域資源の融合による高付加価値な情報の検討。
- ・ 地域事業者のネットワーク形成を支援。

③ 「ツウ」なテーマごとの市町村境・県境を越えた連携・周遊の促進

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村の垣根を越えた周遊旅行商品を造成。

【観光資源連携推進】(観光振興課)

- ・ 本県の武将観光施設及び産業観光施設への集客増と広域誘客を図るため、隣接の岐阜県と連携してスタンプラリーを実施。

《実績》

開催期間:2023.7.21-2024.3.6
参加者:25,520 名

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課)

ア 周遊キャンペーン「あいち家康戦国絵巻ラリー第二幕」

- ・ 県内の武将にまつわる観光施設を周遊するデジタルスタンプラリーを実施。

《実績》

開催期間:2023.5.1-2024.1.8

対象スポット:県内の徳川家康ゆかりの地や武将関連観光施設 160 か所

参加者:11,484 名

イ 名古屋駅にインフォメーションセンターを設置

- ・ 県外観光客の玄関口であり、県内周遊の拠点である名古屋駅にインフォメーションセンターを設置。

《実績》

期間:2023.4.1-6.25 ※86 日間

場所:JR 名古屋駅中央コンコースイベントスペース

ウ 3 県連携周遊キャンペーン「家康天下道めぐり～第二幕～」の開催

- ・ 岐阜県、静岡県と連携し、3 県の歴史・武将観光施設 (10 施設) を巡ってデジタル武将印を集める周遊キャンペーンを実施。

《実績》

期間:2023.7.22-12.18

参加者:2,287 名

【TOPICS ①】大河ドラマを活用した市町村境・県境を越えた連携・周遊の促進

本県では、2023 年の大河ドラマ「どうする家康」の放送を契機に「徳川家康ゆかりの地」及び「武将のふるさと愛知」を広く全国に情報発信するとともに、観光振興による地域の活性化を図ることを目的として、県、市町村、観光関係団体等全 107 団体で構成する「愛知県大河ドラマ『どうする家康』観光推進協議会」を設立し、2022 年度及び 2023 年度の 2 か年に渡り、オール愛知で観光誘客の拡大と周遊観光の促進に取り組みました。

また、本県と同じくドラマの舞台となった静岡県、岐阜県とも、県境を超えた観光誘客を目的として「大河ドラマ『どうする家康』愛知・静岡・岐阜連携事業推進協議会」を立ち上げ、相互送客に取り組みました。

これらの市町村境・県境を越えた協議体による活動が周遊促進施策に効果的であることが確認できたことから、大河ドラマを活用した観光振興のレガシーを継承するため、「あいちの歴史観光推進協議会」を設立しました。

画像左:「あいち家康戦国絵巻ラリー第二幕」ポスター、画像右:「家康天下道めぐり～第二幕～」ポスター



【三河山間地域の魅力発信】(地域振興室)

- ・ 情報誌・SNS 等を活用した三河山間地域の魅力発信及び関係人口の拡大に向けた取組を推進。

【離島の振興】(地域振興室)

- ・ SNS 等を活用した離島の魅力発信及び関係人口と連携した地域課題解決の取組を推進。

④「ツウ」な魅力の多言語化

【Aichi Now web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課)

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」と SNS にて、多言語で情報発信(詳細 P16)。

【海外誘客情報活用推進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 2022 年度に作成したインバウンド向け特設サイト「AMAZING AICHI」について、内容の更新及び追加。



《実績》

8 言語

(英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、タイ語、インドネシア語、ベトナム語、フランス語)

【中国 FIT 向け誘客促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 中国最大の FIT (個人旅行者) 向け旅行情報プラットフォーム「馬蜂窩 (MaFengWo)」において情報を発信 (特集記事の掲載、ライブ配信) (詳細 P17)。

【韓国 FIT 向け誘客促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 韓国において、旅行に関心のある FIT に影響力を有するインフルエンサー (ユーチューバー) を招請し、訪問した県内観光地についての動画コンテンツを作成して配信 (詳細 P17)。

【タイ FIT 向け誘客促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ タイを始めとする東南アジア市場向けに訴求できる本県の観光資源の画像を制作。

《実績》

撮影箇所: 約 30 箇所

【あいちの観光魅力発信】(国際観光コンベンション課)

- ・ 多言語のパンフレット及びツーリストマップを作成し、県内観光案内所等で配布。

《実績》

パンフレット: 3 言語 (英語・中国語 (簡体字・繁体字))

英語 6,000 部、中国語 (簡体字・繁体字) 各 3,000 部、計 12,000 部

ツーリストマップ: 3 言語 (英語・中国語 (繁体字)・ベトナム語)

英語 12,000 部、中国語 (繁体字) 8,000 部、ベトナム語 2,000 部、計 22,000 部

配布先: セントレア観光案内所、海外観光レップ事務所他

【広報誌・広報動画制作】(広報広聴課)

- ・ 広報誌・広報動画「あいちのトビラ」を一部更新。

《実績》

対応言語: 日本語、英語、中国語 (簡体字)

⑤各分野の専門家と連携した魅力の磨き上げ

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課)

- ・ 感動レベルの体験コンテンツを商品化・販売するため、着地型ガイドツアーの専門家や有識者をアドバイザーに招いたモニターツアーを実施。



「あいちのトビラ」表紙

⑥歴史的遺産や文化財等の観光資源としての活用の促進

【忍者観光創出】(観光振興課)

- ・ 愛知県にゆかりのある忍者を活用した「徳川家康と服部半蔵忍者隊」を結成し、愛知の観光 PR 隊として活動。

《実績》

名古屋城	[平日・日祝活動]	310 日間	[土曜日活動]	52 日間
中部国際空港	[平日活動]	30 日間	[土日祝活動]	13 日間
観光 PR イベント	[県外活動]	24 日間	[県内活動]	24 日間
オンラインツアー	12 日間(毎月 1 回)			

【歴史観光推進】(観光振興課)

- ・ 県内外の街道観光関係者が一堂に会する講演会を開催し、有識者による講演や地域の取組事例発表、情報交換等を実施。

《実績》

名称:愛知県街道観光講演会
開催日:2024.1.24
参加者数:56 名

【本庁舎公開イベント】(財産管理課)

- ・ 国の重要文化財でもある愛知県庁本庁舎公開イベントを実施。

《実績》

開催日:2023.11.3(文化の日)
開催内容:本庁舎見学、文化・芸術に関する各種イベント、農産品等の販売、県事業紹介、パネルの展示など

【文化財保存修理費補助金】(文化財室)

- ・ 国・県指定文化財の適切な維持管理のため、必要な保存修理費等の一部を所有者に補助。

【山車まつりの保存・継承・魅力発信】(文化財室)

- ・ あいち山車まつり日本一協議会による山車文化の魅力を発信。

【あいち朝日遺跡ミュージアムの運営】(文化財室)

- ・ あいち朝日遺跡ミュージアムの運営、企画展(年 4 回)を開催。

⑦産業博物館や文化・芸術施設の観光資源としての活用の促進

【あいち航空ミュージアムの運営】(航空空港課)

- ・ あいち航空ミュージアムにおいて、時機を捉えたイベントの企画やコンテンツの更新を実施。

【観光資源連携推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 岐阜県と連携して実施するスタンプラリーにおいて、産業博物館や文化・芸術施設を対象施設に組み込み。

《実績》

産業博物館や文化・芸術施設 参画スポット:100 施設

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 地域資源の観光プログラム化を考える地域の主体(市町村、観光協会、観光事業者)に対し、産業博物館や文化・芸術施設を活用した観光プログラムの造成を呼びかけ。

【国際芸術祭「あいち 2025」の開催準備】(国際芸術祭推進室)

- ・ 芸術監督の選任テーマ・コンセプト及び開催概要を決定。
- ・ 広報 PR 活動を実施。
- ・ プレ事業を実施。

《開催内容(予定)》

芸術監督:Hoor Al Qasimi フール・アル・カシミ
テーマ:A Time Between Ashes and Roses
(灰と薔薇のあいまに)
会期:2025.9.13-11.30[79 日間]



Photo: SEBASTIAN BÖTTCHER

フール・アル・カシミ芸術監督

【陶磁美術館の活用】(文化芸術課)

- ・ 常設展、特別展等を開催。
- ・ SNS による発信
- ・ 陶製狛犬を活かしたイベント
- ・ 出張展示や出張陶芸事業を実施(長寿命化改修工事による休館期間(※))
※2023.6.19～2025.3.31。

⑧地域の歴史、産業、自然、文化等をテーマとした、県民向けの学習機会の提供

【AEL ネットを活用したエコアクションの推進】(環境活動推進課)

- ・ 県内の環境学習施設等で構成されている AEL ネットに加盟している施設や自治体が連携して、環境学習スタンプラリーを実施。

【伝統文化出張講座】(文化財室)

- ・ 小・中学校の授業等で、地域の民俗芸能保存団体と交流し、芸能の鑑賞だけでなく、体験・練習及び発表を通じて伝承活動を支援。

《実績》

開催校数:小学校4校、中学校1校

【杉原千畝顕彰】(教育委員会総務課)

- ・ 杉原千畝氏の人道的功績や、「杉原千畝広場 センポ・スギハラ・メモリアル」を周知するための啓発事業を実施。

《実績》

- ・ 「杉原千畝広場センポ・スギハラ・メモリアル」整備に協力頂いた米国の「ホロコースト記念博物館」[展示資料提供の御礼、記念冊子、フォトブック贈呈]及び「米国ユダヤ人協会」[意見交換、記念冊子、フォトブック贈呈]を訪問(5月)
- ・ 「杉原千畝広場センポ・スギハラ・メモリアル」の完成記念式典に出席し、スピーチをいただいたユダヤ教のラバイ(指導者)デイビッド・ウォルペ師[意見交換、記念冊子、フォトブック贈呈]を訪問(8月)

【高等学校普通科教育課程の弾力化】(あいちの学び推進課)

- ・ 県立福江高校の観光ビジネスコースで、観光や地域振興に関する教育を推進。
- ・ 県立足助高校への観光ビジネスコースの新設に係る施設設備を整備。

⑨「ツウ」な魅力を伝えるガイドの育成

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 5つのテーマ(歴史、自然、産業、食文化、山車・祭・伝統文化)に関する既存のガイドプログラムについて、有識者によって更なる品質向上(シナリオ化)を図るとともに、ガイドが自走してプログラムを販売できるよう、販売方法の指南を実施。

《実績》

セミナー受講者:10名/カリキュラム全5回
造成ガイドプログラム:9件

(2)効果的なPR・プロモーション

①デジタルマーケティングの実施

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課)

- ・ 観光客のデータを収集し、データに基づいた分析を実施。
- ・ 市町村別分析レポートを作成し、各市町村のPR・プロモーション施策の立案を支援。

《実績》

【収集データの概要】

観光資源データ数:2,000 地点程度

収集データ対象期間:2019.1.1-2024.3.31

データ:観光客の数、居住地、性別・年代、周遊の日別単位のデータ

- ・ 市町村向けに、データ閲覧サービスの操作説明等を行うガイダンス、EBPM の実践に繋がる具体的なデータ分析手法を学ぶ勉強会を開催。
- ・ 旅行予約ウェブサイトにも県内観光資源(観光誘客イベント、体験型観光コンテンツ、宿泊プランなど)を紹介・販売する特設ページを開設し、適切な広告プラットフォームで効果的に特設ページに誘導するデジタル広告配信を実施。

②運輸機関(鉄道・航空・空港・高速道路事業者等)・旅行者等との連携

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

ア 鉄道事業者との連携

- ・ 名古屋鉄道の観光キャンペーンや旅行商品に、造成した観光プログラムを組み込み、販売。
- ・ JR 東海と連携し、造成した観光プログラムを組み込んだ旅行商品を造成、販売。

イ 航空事業者との連携

- ・ 造成した観光プログラムの販売促進に資する情報を発信。

ウ 高速道路事業者との連携

- ・ 造成した観光プログラムの販売促進に資する情報を発信。
- ・ 高速道路周遊パスとお買い物券をセットにしたドライブプランを造成。

エ 旅行会社等との連携

- ・ OTA と連携し、個人旅行者向け宿泊プランに、造成した観光プログラムを組み込み、販売。
- ・ 旅行会社等に対して、観光プログラムを組み込んだ旅行商品の造成を促すため、提案するためのツール(企画カード)を作成し、セールス活動を実施。
- ・ 全国の旅行会社に対し、本県を目的地とする旅行商品の造成を働きかけるため、県内の市町村、観光協会、観光関連事業者等に対し、旅行会社とのオンライン商談会の場を提供。

《実績》

参加旅行会社:38 社、愛知県側参加団体:46 団体

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 交通事業者との連携による大規模な周遊キャンペーンを実施。

《実績》

「どうする岡崎 家康公きっぷ」、「名鉄お城めぐりきっぷ」:名古屋鉄道(株)

「大河ドラマ館セット岡崎市内フリー往復きっぷ」:愛知環状鉄道(株)

【中部国際空港観光案内実施 愛知の観光情報放映】(国際観光コンベンション課)

- ・ 中部国際空港第1ターミナル4階に設置された大型ビジョンで、本県の観光PR映像を放映。

《実績》

1枠:30 秒番組、1 か月あたり最低 240 回

【中国 FIT 向け誘客促進事業】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 中部国際空港と連携して、中国最大の FIT 向け旅行情報プラットフォーム「馬蜂窩

(MaFengWo)」において情報を発信(特集記事の掲載、ライブ配信)(中部国際空港の既存アカウントを使用)(詳細 P17)。

【Aichi Now web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」に旅行会社・メディア向けサブサイト「Aichi Now PRO」を開設・運営し、旅行会社に対し情報を発信。

③メディアへの情報発信、メディアとの連携

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 県内各地でのパネル巡回展示。
- ・ 名古屋城金シャチ横丁義直ゾーンにおいて、パネルや撮影で使用した衣装等の展示とあわせて、県内の徳川家康ゆかりの地や岡崎大河ドラマ館を PR する「大河ドラマ展」を開催。

《実績》

パネル展示: 県内 13 か所で開催

大河ドラマ展: 開催期間: 2023.7.8-9.24、場所: 金シャチ横丁「義直ゾーン」の土産店「鯨上々」店舗内

④SNS、web を活用した情報発信

【Aichi Now web サイト・SNS 情報発信】

(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」や公式 SNS で観光スポットやイベント情報を発信。



《実績》

サイトのページビュー数(2023年度全言語累計): 14,673,932 ビュー

SNS 配信状況: 日本語 原則週 5 日以上かつ1日 1 回以上

英語、中国語(簡体字・繁体字): 原則週 5 日以上かつ1日 2 回以上

フォロワー数(2024.3 月末時点):

Facebook 13,325(日) / 214,765(英) / 53,139(中)、X(旧 Twitter) 8,966(日) / 537(英) / 220(中)

Weibo 9,991(中)、WeChat 1,249(中)、LINE 13,920(日)、Instagram 24,089(日) / 2,253(英)

【観光需要平準化促進】(観光振興課)

- ・ 愛知県「休み方改革」イニシアチブ及び混雑を回避した旅行を促す「あいちスキ旅キャンペーン」を周知するための特設サイトを開設・運営。
- ・ 「あいちスキ旅キャンペーン」を周知するため、宿泊予約サイトとの連携及び SNS 広告を配信。



《実績》

広告配信媒体: Yahoo!、Google、X(旧 Twitter)、Instagram、LINE、SmartNews

記事掲載 web メディア: RETRIP、Walkerplus+

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 大河ドラマや歴史に興味を持った方が多くが情報収集で利用するポータルサイトにバナー広告を掲出。

《実績》

配信期間: 2023.4.21-5.6、7.18-9.20

広告表示回数: 計約 7,800 万回

【忍者観光創出】(観光振興課) -再掲-

- ・ 愛知県にゆかりのある忍者を活用した「徳川家康と服部半蔵忍者隊」を結成し、YouTube 上でオンラインツアーを開催して、遠方地に向けた PR を実施(詳細 P12)。

【中国 FIT 向け誘客促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 中国最大の FIT 向け旅行情報プラットフォーム「馬蜂窝(MaFengWo)」において情報を発信(特集記事の掲載、ライブ配信)。

《実績》

特集記事の掲載時期 :2023.10.23
ライブ配信の実施時期:2023.8.24

【韓国 FIT 向け誘客促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 韓国において、旅行に関心のある FIT に影響力を有するインフルエンサー(ユーチューバー)を招請し、訪問した県内観光地についての動画コンテンツを作成して配信。

《実績》

招請時期: 2023.11.2-4
招請人数:インフルエンサー3名
YouTube 配信時期: 2023.12-2024.3

⑤首都圏・関西圏でのプロモーション

【愛知の観光物産展開催】(観光振興課)

- ・ 他局・市町村・事業者と連携して観光物産展を開催し、首都圏・関西圏在住者に向け県内の物産・観光の魅力を効果的に PR。

《実績》

[首都圏] 開催日:2022.1.27-28 会場:有楽町駅前広場 来館者数:約 68,000 人
[関西圏] 開催日:2023.7.22-23 会場:ディーズスクエア(大阪市) 来場者数:76,000 人

【ツーリズム EXPO ジャパン出展】(観光振興課)

- ・ 世界最大級の旅の祭典「ツーリズム EXPO ジャパン 2023」に出展。

《実績》

会期:2023.10.26-29、会場:インテックス大阪
内容:商談会・本県の観光PR(12 スペース(108 m²))

【歴史観光】(観光振興課) -再掲-

- ・ 毎年 12 月に横浜で開催される全国規模の城郭イベント「お城 EXPO」へ出展(詳細 P18)。

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ 国内 MICE 見本市「第 33 回国際MICEエキスポ(IME2024)」に出展(詳細 P27)。
- ・ 学会、業界団体、インセンティブ関係業界等と愛知・名古屋の MICE ステークホルダーによる商談会を中心とした愛知・名古屋 MICE 説明会を開催。

《実績》

開催日:2023.12.13 会場:東京大学伊藤国際学術研究センター

⑥観光 PR キャラクターを活用した PR(観光振興課)

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 2022 年度に作成したキャラクターを活用した情報発信を継続して実施。



ロゴマーク



いやすくん



ひでよしくん



のぶながくん



ただつぐくん



おだいちちゃん

⑦海外観光レップを活用した PR・プロモーション

【海外観光レップ】(国際観光コンベンション課)

- ・ 海外の現地事情に精通した「観光レップ」を 4 か国(タイ、ベトナム、インドネシア、アメリカ)に設置し、現地旅行会社・メディアへのセールス活動、情報発信、現地市場調査を実施。

《実績》

【アジア・米国】

- ・ 現地旅行会社・メディアへのセールス活動(タイ 6 社(23 回)、ベトナム 6 社(18 回)、インドネシア 10 社(50 回)、アメリカ 39 社(39 回))

【米国のみ】

- ・ 現地旅行会社・メディアへのニュースリリース配信(年4回)
- ・ 現地における情報収集・現地市場調査
- ・ 旅行ガイドブックの掲載状況調査

【アジアのみ】

- ・ SNS を活用した個人旅行者向けの情報発信(タイ(Facebook)・88 回、ベトナム(Facebook)・88 回、インドネシア(Instagram)・110 回)

⑧「ツウ」なテーマに特化したイベントの開催・出展・支援

【武将観光推進】(観光振興課)

- ・ 全国の武将隊や忍者隊等が集結する「サムライ・ニンジャフェスティバル 2023」を開催。

《実績》

開催日:2023.11.19 会場:大高緑地 来場者:約 30,000 名

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 毎年 12 月に横浜で開催される全国規模の城郭イベント「お城 EXPO」へ出展。

《実績》

[お城EXPO2023 出展]

開催日:2023.12.16-17 会場:パシフィコ横浜 ノース 来場者:18,088 名

- ・ 本県で「お城 EXPO」と連携した城郭イベント「にっぽん城まつり」を開催。

《実績》

[にっぽん城まつり feat.出張! お城 EXPO in AICHI]

開催日:2024. 3.2-3 会場:吹上ホール 来場者:6,585 名

【大河ドラマ活用誘客促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ イベントへのブース出展。

《実績》

鯨の大祭典(開催日:2023.8.5 会場:新国立競技場、開催日:2023.9.2 会場:豊田スタジアム)

大関ヶ原祭(開催日:2023.10.14-15 会場:岐阜県関ヶ原町)

岡崎城下家康公秋まつり(開催日:2023.11.4-5 会場:岡崎公園)

- ・ 観光展「あいち家康戦国絵巻 in 江戸」の開催。

《実績》

開催日:2023.8.26-27

会場:二子玉川ライズ「ガレリア」

- ・ NHK と連携したパネル展の開催 (詳細 P16)。
- ・ 他県(岐阜県、静岡県)と連携した周遊キャンペーン「家康天下道めぐり～第二幕～」の実施(詳細 P11)。

【あいちの自然観光フェア開催】(観光振興課)

- ・ 日本最大級のアウトドアイベント「FIELDSTYLE」に併催するイベント「DESTINATION AICHI」を開催し、あいちの自然観光の魅力を発信。

《実績》

開催日:2023.11.11-12
会場: Aichi Sky Expo
出展者:一般ブース 県内アウトドア事業者等 43 者、飲食ブース 3者
来場者(FIELDSTYLE):49,000 人(2 日間合計)

【フランス観光客誘致促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ フランス・パリで開催されたヨーロッパ最大級の日本文化を広く紹介するイベント「Japan Expo」へ出展し、知事によるトッププロモーションを実施。

《実績》

「Japan Expo」出展期間:2023.7.13-16(4 日間)

【TOPICS ②】フランスで愛知県の観光魅力の発信

ヨーロッパ最大級の日本文化を広く紹介するイベント「Japan Expo」に出展し、フランスからの関心が高く、愛知の観光の強みである歴史・伝統文化やポップカルチャー等を PR し、認知度向上とフランスからの誘客促進を図りました。

知事によるトッププロモーションでは、ジブリパークを紹介するとともに、世界コスプレサミット 2022(2022 年 8 月開催)の優勝者などによるコスプレ文化を発信するパフォーマンスを実施し、コスプレの聖地として愛知県で毎年 8 月に「世界コスプレサミット」が開催されていることを紹介しました。



ステージイベントの様子

【世界コスプレサミット開催支援】(観光振興課)

- ・ 「世界コスプレサミット」の開催を支援するため、名古屋市と協調して費用の一部を負担。

《実績》

開催日:2023.8.4-8.6(8.4 は前夜祭)
会場: 愛知芸術文化センター(ワールドコスプレチャンピオンシップ)、
オアシス 21(一般参加のコスプレイベント) 他
参加地域(ハイブリッド形式):33 の国及び地域

【にっぽんど真ん中祭り開催支援】(観光振興課)

- ・ 「にっぽんど真ん中祭り(どまつり)」の開催を支援するため、名古屋市と協調して費用の一部を負担。

《実績》

開催日:2023.8.25-27、2023.11.23-26
会場:久屋大通公園始め名古屋市内 9 会場(本祭)、愛・地球博記念公園(テレどまつり)
参加チーム数:国内外から 472 チーム 来場者:約 162 万 3 千人名

【名古屋まつり開催支援】(観光振興課)

- ・ 名古屋まつりの開催を支援するため、費用の一部を負担。

《実績》

開催日:2023.10.21-22

会場:久屋大通公園、オアシス 21、名古屋城 ほか

【春姫まつり開催支援】(観光振興課)

- ・ 尾張藩祖・徳川義直公を支えた 3 人の女性(春姫(妻)、お亀の方(母)、お尉の方(側室))にスポットを当て、名古屋市内のパレードや名古屋城特設ステージでのイベントを開催する「春姫まつり」の開催を支援するため、費用の一部を負担。

《実績》

開催日:2024.3.17

会場:久屋大通公園、名古屋城 ほか

⑨海外公館や JNTO 等を通じた PR・プロモーション

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ JNTO が主催する海外商談会への参加

《実績》

インセンティブ旅行商談会(シンガポール)(開催日:2023. 8. 31 商談数:13 件)

インセンティブ旅行商談会(台湾)(開催日:2023. 12. 6 商談数:7件)

⑩フィルムコミッションを通じた PR・プロモーション

【フィルムコミッション活動支援】(観光振興課)

- ・ 県内で撮影された作品のロケ地を紹介するパネル展の開催、ロケ地マップの作成。
- ・ 県内FCとの意見交換会(3回)の開催。
- ・ フィルムコミッション協議会のWebサイトを最新の内容に再構築し、マルチデバイスへの対応等により、情報提供体制を整え、制作側への訴求力を強化。

⑪県人会・在住外国人等を通じた情報発信

【県人会を通じた県政 PR の推進】(県民総務課)

- ・ 各県人会総会等の機会を利用して、観光情報・県政情報の PR や県政への協力を依頼。
- ・ 各県人会が推薦する者に「愛知ふるさと大使」を委嘱し、出身県及び現在住んでいる県等において、積極的な観光情報の発信や愛知県政 PR 活動を依頼。

柱 2 受入れ体制の整備・充実

(1)多言語化の促進等による利便性の向上

①宿泊施設や立ち寄り施設等の多言語化の支援

【多言語コールセンター運営】(国際観光コンベンション課)

- ・ 利用登録した観光関係事業者に対して、外国語による施設案内表示等に対する翻訳サービスを提供。

《実績》

館内案内 59 件、飲食メニュー83 件、商品紹介 2 件、メール対応 15 件、その他 43 件

②案内標識・案内板等の多言語化の促進

【アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ ネイティブライター等専門人材を観光施設に派遣して多言語表記を検証し、ネイティブ目線を盛り込んだ解説文等を作成。

《実績》

9 資料×4 言語(英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語)

③接客現場における多言語対応の支援

【多言語コールセンター運営】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 利用登録した観光関係事業者に対して、外国人旅行者との接客時における電話等を利用した通訳サービスを提供。

《実績》

93 件(登録事業者:25 件、外国人旅行者及び在住者:68 件)



(2)多様な宗教・信条等への対応支援

①特別な配慮が必要な宗教・信条等への対応の支援

【ムスリム誘客促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 県内の観光関連事業者等を対象に、ムスリム旅行者受入対応セミナーを開催。

《実績》

・開催日:第1回 2024.2.7、第2回 2024.2.15

・内容:第1回 講演・店舗見学、第2回 講演・試食会・意見交換会

(3)多様な旅行・宿泊ニーズへの対応

①高級ホテルの誘致

【高級ホテル立地促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 補助金交付決定の参考とするため、有識者からの意見聴取を実施。

《実績》

実施日:2023.11.2

- ・ 株式会社日本セレモニー(ホテル名:TIAD,AUTOGRAPH COLLECTION)に対して補助金を交付。(1億円)。



TIAD,AUTOGRAPH COLLECTION

《参考:事業認定ホテル》 TIAD, AUTOGRAPH COLLECTION コンラッド名古屋 (仮称) エスパシオ ナゴヤキャッスル	2021.2 事業認定、2023.7.1 開業 2021.9 事業認定、2026.8 開業予定 2021.9 事業認定、2025 年春開業予定
--	---

②ワーケーション・プレジャー客の取り込み

【離島のワーケーション等推進】(地域振興室)

- ・ 離島でのワーケーション・スタディケーションの実証実験及び参加者と島民との交流の実施。

③宿泊施設の高付加価値化

【宿泊事業者高付加価値化促進】(観光振興課)

- ・ 県内の宿泊事業者が実施する、宿泊施設のリノベーション等、高付加価値化を図る取組に対して補助金を交付。

《実績》
 16 事業者、945,699 千円

(4)ユニバーサルツーリズムの推進

バリアフリー化への支援

【観光施設費等補助金】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村が実施する観光施設のバリアフリー化に対し、補助金を交付。

《実績》
 補助件数(バリアフリー化) 26 施設等、59,458 千円

(5)旅行者の安全・安心の確保

災害時における外国人旅行者への多言語での情報発信

【愛知県救急医療情報システムによる外国人への医療情報提供の実施】(医務課)

- ・ 外国語対応可能な医療機関に関する情報を、音声及び FAX では 5 ヶ国語(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国語)、インターネットでは 4 ヶ国語(英語、中国語、韓国語、ポルトガル語)による外国語表示機能により提供。

【愛知県災害多言語支援センター設置】(多文化共生推進室)

- ・ 愛知県災害多言語支援センターの設置訓練や、市町村国際交流協会職員等を対象とした、災害時の外国人支援に関する知識を習得するための講座を開催。

《実績》
 センター設置訓練 2024.3.26
 災害時外国人支援活動講座 オンデマンド講座 配信期間:2023.11.13-2024.3.31
 実践講座 開催日:2023.12.19

柱 3 観光交流拠点としての機能強化

(1) 周遊観光・広域観光の推進

① 交通結節点からの周遊観光・広域観光の推進

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 名古屋鉄道と連携し、観光キャンペーンや旅行商品に、造成した観光プログラムを組み込み、販売。
- ・ JR 東海と連携し、造成した観光プログラムを組み込んだ旅行商品を造成、販売。
- ・ 航空事業者と連携し、造成した観光プログラムの販売促進に資する情報を発信。
- ・ 高速道路事業者と連携し、造成した観光プログラムの販売促進に資する情報を発信、高速道路周遊パスとお買い物券をセットにしたドライブプランを造成。

② ジブリパークを活用した誘客、周遊観光の促進

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ ジブリパーク来場者のデータ統計データ等を提供するサイトの運用。
- ・ ジブリパークチケット販売サイト内に開設した、来園者向け観光情報等発信特設サイト「ジブリパークのある愛知への旅」運営、掲載するプログラムの造成。

《実績》

チケット購入者向け特設サイトの運用
観光プログラムの紹介: 32 件
ジブリパーク発着モビリティサービス&発着プラン: 4 件
販売数(Boo-Woo チケットで販売している 21 プログラム):
773 件

- ・ 首都圏等のデジタルサイネージやシネアドでの広告配信。

《実績》

シンクロ 7 シブヤヒットビジョンを始め、首都圏、関西圏の屋外デジタルサイネージ 4 箇所
首都圏・関西圏の美術館・劇場近くの駅、東京駅、新大阪駅、名古屋駅
首都圏、関西圏の映画館 6 館
首都圏、関西圏の商業施設内フードコート・書店



特設サイト「ジブリパークのある愛知への旅」

【リニモ沿線地域活力創出】(交通対策課)

- ・ リニモ沿線施設・店舗に立ち寄るきっかけづくりやリニモに乗って周遊する動機付けとなる企画等を実施。

《実績》

「リニモ沿線優待施設・店舗新規開拓及び利用促進キャンペーン」
実施期間 2023.11.1-2024.1.31

- ・ リニモ 1DAY フリーきっぷによる優待施設・店舗を新規開拓

③ 中央日本総合観光機構や東海地区外国人観光客誘致促進協議会等の広域連携事業体を通じた取組の推進

【中央日本総合観光機構】(国際観光コンベンション課)

- ・ 中部 9 県の自治体・観光関係事業者と連携し、万博を契機とした誘客促進検証事業を

実施。

【東海地区外国人観光客誘致促進協議会】(国際観光コンベンション課)

ア 東海 4 県 2 市との連携

- ・ シンガポール市場に向けた東海エリア誘客促進プロモーション(BtoC 向け旅行博覧会(NATAS)出展)

《実績》

実施日:2024.3.1-3

- ・ マレーシア市場に向けた東海エリア誘客促進プロモーション (旅行会社招請)

《実績》

招請時期:2023.12.11-17

イ 愛知県内の市町等との連携

- ・ 台湾 ITF 出展
- ・ 海外メディア・インフルエンサー招請

④近隣県等を含んだ周遊の促進

【観光資源連携推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 本県の武将観光施設及び産業観光施設への集客増と広域誘客を図るため、隣接の岐阜県と連携してスタンプラリーを実施 (詳細 P10)。

⑤アジア・アジアパラ競技大会の開催を見据えた周遊観光・広域観光の検討

【アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 旅行会社向けプロモーション(訪問先:韓国・中国・台湾・香港の主要旅行会社)。

《実績》

訪問先:韓国 7 社、中国 8 社、台湾 10 社、香港 6 社

- ・ 一般旅行者向け情報発信(メディア・インフルエンサーの招請)。

《実績》

招請時期: 11 月

情報発信時期: 2~3 月

対象市場:台湾・香港(2 地域)

被招請者:メディア、インフルエンサー等 2 地域×2 者=計 4 者

(2)航空路線・外航クルーズ船の誘致

①エアポートセールス等による航空路線の復活・誘致

【エアポートセールス等を通じた航空路線の復活・誘致】(航空空港課)

ア エアポートセールス

- ・ 中部国際空港のネットワークの拡充に向けエアポートセールスを実施。

《実績》

中国東方航空(実施日:2023.10.9)、上海吉祥航空(2023.10.9)

イ アウトバウンド促進事業

- ・ この地域の中部国際空港からの航空機利用を促進するため、台湾、愛媛、高知の各地の見どころ・魅力を紹介しながら、各地のお菓子が抽選で当たるキャンペーン特設サイトの制作を行う他、タウン誌での特集記事掲載、ウェブ広告の配信及び商業施設での PR 活動を実施。

【中部国際空港利用促進協議会】(航空空港課)

ア 北海道からの誘客事業

- ・ エスコンフィールド HOKKAIDO において、ブースを出展し当地の魅力を PR するとともに、ラジオや各種 SNS を活用した情報発信を実施。

イ マレーシア向け誘客促進事業

- ・ SAMURAI・NINJA 事業と連携し、KOL 及び愛知県内大学に在籍している留学生を講師として、現地で FIT 向けセミナーを行うとともに、マレーシア最大級の旅行博に出展し、来場者に対し当地の最新情報をアップデートし訴求することにより、当地への来訪を促進する事業を実施。

ウ 中部一天津線情報発信事業

- ・ ジブリパークをフックに、中国向け SNS 系インフルエンサーによる中国からの誘客に向けた情報発信を実施。

エ 商業施設での PR 事業

- ・ 空港の所在する常滑市の商業施設において、地域の方々に対し旅行機運の醸成や利用促進を図るため、シンガポール、マレーシア及びフィンランドの魅力やセントレアにおける取組の PR を実施。

②ポートセールス等を通じた外航クルーズ船の誘致

【クルーズ船誘致促進】(国際観光コンベンション課)

ア 名古屋港におけるクルーズ船誘致

《実績》

- 外航クルーズ船社等へのポートセールス(実績:5社)
- 寄港地観光行程造成(実績:11本)
- 国内ランドオペレーターへのセールスコール(実績:1回)
- 寄港時の観光案内(実績:1回)

イ 三河港におけるクルーズ船誘致

《実績》

- 外航クルーズ船社等へのポートセールス(実績:11社)
- クルーズセミナーの開催(実績:1回 2024.3.11 実施)

(3)モビリティ・マネジメント

①MaaS の普及促進

【マルチモーダルサービス導入実証】(交通対策課)

- ・ 名古屋東部丘陵地域を中心とする地域及び中部国際空港を中心とする知多地域を対象とした MaaS の導入に向けた実証実験の実施。

(4)交通インフラの整備

①リニア中央新幹線の整備促進

【期成同盟会による早期整備に向けた国等への働きかけや啓発等】(リニア事業推進室)

- ・ 期成同盟会(全国・県)による早期整備に向けた国を始めとする関係機関への働きかけや啓発活動等を実施。

②中部国際空港の第二滑走路の整備促進

【中部国際空港の第二滑走路の整備を始めとする機能強化に向けた取組の推進】(航空空港課)

- ・ 中部国際空港の第二滑走路の早期実現に向けた国への働きかけ等。

③広域幹線道路の整備促進

【広域幹線道路の整備促進】(道路建設課)

- ・ 観光地間の有機的なネットワーク化を図るため、三遠南信自動車道等において整備の推進を国へ要望。

柱 4 MICE の誘致・開催、Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)の活用

(1)国際会議・展示会の誘致・開催

①国内外の見本市への出展

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 東南アジア最大級の MICE 商談会「IT&CM Asia」(タイ・バンコク)への出展。

《実績》

開催日:2023.9.26-28 会場:センタラグラウンド&バンコクコンベンションセンター・アット・セントラルワールド 商談数:76 件

- ・ 国内 MICE 商談会「VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2023」への出展。

《実績》

開催日:2023.10.26-28 会場:インテックス大阪 商談数:25 件

- ・ 国内 MICE 見本市「第 33 回国際MICEエキスポ(IME2024)」への出展。

《実績》

開催日:2024.2.15 会場:東京国際フォーラム 商談数:25 件

②国際会議・展示会の開催支援

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 大規模 MICE の参加者へのおもてなしとして、アトラクションの派遣やギブアウェイを提供。

《実績》

アトラクション提供 8 件、ギブアウェイ提供 6 件

【次世代産業展示会開催】(国際展示場室)

- ・ 2024 年 6 月に Aichi Sky Expo で開催される新たな産業展示会「AXIA EXPO 2024」の開催気運の醸成を図るため、スマートシティをテーマとした産業展示会「Smart City Park from AXIA EXPO」を開催。

《実績》

開催日 2023.10.5-6

【TOPICS ③】

産業展示会「SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE」の開催

2024 年 3 月に Aichi Sky Expo で初となる国際的な産業展示会「SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE」が開催されました。「グローバルインダストリー」は GL イベント (Aichi Sky Expo の運営事業者である愛知国際会議展示場 (株) の代表企業) がフランスで主催するヨーロッパ最大級の国際的な産業展示会です。結果として、国内外から 374 社・団体が参画し、10,072 人が参加しました。

2019 年に開業した Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場) では、日本最大級の国際空港直結型の展示場として、産業集積地である本県の強みを活かして、産業展示会や国際会議、B to C イベントなど様々な催事を開催してきました。

今後も、愛知国際会議展示場 (株) や官民連携組織である Aichi Sky Expo 活性化推進機構とともに、MICE の誘致・開催に取り組んでいきます。

SMART MANUFACTURING SUMMIT BY
GLOBAL INDUSTRIE の様子



③グローバルインダストリー日本版の開催支援

【グローバル・インダストリー日本版開催支援】(産業振興課)

- ・ 産業界への SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE(グローバルインダストリー日本版)出展働きかけ等の実施。
- ・ 県内企業の展示、県の施策 PR、講演・セミナー等を行う県ブースの出展。

④高級ホテルの誘致

【高級ホテル立地促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 補助金交付決定の参考とするため、有識者からの意見聴取を実施(詳細 P21)。

⑤国際会議等の誘致

【日台観光サミット推進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 本県で開催された「2023 日台観光サミット in 愛知」において、本県主催で歓迎晩餐会、昼食・夕食交流会、エクスカージョン等を実施。

《実績》

日程 2023.9.7-10

内容及び主催者

国際会議:日台観光推進協議会(事務局 (公社)日本観光振興協会、(一社)日本旅行業協会)、台日観光推進協議会(事務局 (財)台湾観光協会)

歓迎晩餐会、昼食・夕食交流会、エクスカージョン:愛知県

【TOPICS ④】日台観光サミットの実施

日本と台湾の間における相互交流の持続的な発展に向けて、双方の旅行業界・観光業界トップが集う「2023 日台観光サミット in 愛知」が、2023年9月7日(木)から9月10日(日)まで、本県において開催されました。

9月8日(金)に開催された国際会議では「日台観光サミット 愛知宣言」が合意されたほか、本県が主催した歓迎晩餐会や昼食・夕食交流会、エクスカージョンにより、本県の多彩な観光資源の紹介や相互の交流を深めることができました。

今回築いた台湾とのネットワークを活用し、台湾から本県への一層の誘客促進を図っていきます。



国際会議での集合写真



歓迎晩餐会の様子

⑥Aichi Sky Expo の活用

【愛知県国際展示場管理運営】(国際展示場室)

- ・ コンセッション方式による運営の支援等。

【展示会産業振興基金 官民連携組織運営】(国際展示場室)

- ・ 地域プロモーションの実施。

《実績》

- ・ Aichi Sky Expo の共用スペース等に県産品を PR するコーナーを開設:2 回
- ・ MICE PLANNERS GUIDE、Exhibition World (Mash Media 媒体)への Aichi Sky Expo 特集記事掲載

- ・ 催事の開催支援。

《実績》

- ・ Aichi Sky Expo 利用促進補助金:5 件

- ・ 展示会等の企画・開催。

《実績》

- ・ SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE (グローバルインダストリー 日本版)の開催支援 (2024.3.13-15 開催)
- ・ World Game Summit 2023 の開催支援 (2023.8.5-6 開催/e スポーツ企画を中心とした BtoC イベント)

(2)イベントの誘致・開催

①ツーリズム EXPO ジャパンの誘致

【国際会議等誘致推進 ツーリズム EXPO ジャパンの誘致】(国際観光コンベンション課)

- ・ 主催団体との調整、先行開催地事例の情報収集、県内関係機関との調整等
- ・ 主催団体により 2025 年開催地の公募が行われる際などに必要となる、来場者輸送計画、経済波及効果、地元の特色を活かした企画といった受入体制計画等の策定。

②技能五輪国際大会の招致

【技能五輪国際大会の招致】(技能五輪・アビリンピック推進室)

- ・ 2028 年大会の開催地に日本・愛知として立候補
- ・ 招致機運を盛り上げるイベントを開催

《実績》

- ・ 技能五輪国際大会講座
開催日:2023.7.15-16 参加者:170 名
- ・ 街頭イベント
開催日:2024.2.17 参加者:226 名

③愛知万博 20 周年記念事業の開催

【愛知万博 20 周年記念事業準備】(愛知万博 20 周年記念事業推進室)

- ・ 2005 年に開催された愛知万博から 20 周年を迎える 2025 年に、愛・地球博記念公園において、愛知万博 20 周年記念事業を実施するため、実施計画を策定するとともに、各種広報を実施。

(3)インセンティブツアーの誘致

①国内外の見本市への出展

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 東南アジア最大級の MICE 商談会「IT & CM Asia」(タイ・バンコク)への出展(詳細 P27)。
- ・ 国内 MICE 商談会「VISIT JAPAN トラベル & MICE マート 2023」への出展(詳細 P27)。
- ・ 国内 MICE 見本市「第 33 回国際 MICE エキスポ(IME2024)」への出展(詳細 P27)。
- ・ 愛知・名古屋 MICE 説明会の開催 (詳細 P17)。

②JNTO 主催セミナー・商談会への参加

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ JNTO が主催する海外商談会「インセンティブ旅行商談会」への参加

③旅行会社等の招請

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ MICE 訪問者からのニーズが高く、当地域の強みでもあるテクニカルビジット(産業視察)をはじめとする MICE コンテンツを活用した、ランドオペレーターを対象とするファミトリップを実施。

《実績》

実施時期:2024.2.27-29

参加者:国内ランドオペレーター5社(5名)

④インセンティブツアー来訪時のおもてなしの実施

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ ツアー参加者に対するおもてなしとして、アトラクションの派遣やギブアウェイを提供(詳細 P27)。

⑤企業との連携によるテクニカルビジット(産業視察)の推進

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ テクニカルビジット(産業視察)受入先一覧の更新。
- ・ MICE 訪問者からのニーズが高く、当地域の強みでもあるテクニカルビジット(産業視察)をはじめとする MICE コンテンツを活用した、ランドオペレーターを対象とするファミトリップを実施。

(4)スポーツ大会の招致・開催

①第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)・第5回アジアパラ競技大会(2026/愛知・名古屋)の開催に向けた準備

【大会の開催準備】(アジア・アジアパラ競技大会推進局)

- ・ 愛知・名古屋 2026 の開催に向け、組織委員会と連携し、開催都市として名古屋市や関係市町村等との調整を図りながら、以下の取組を推進。

《実績》

- ・ (公財)愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会の支援
- ・ 大会の PR
- ・ 市町村施設改修事業費補助金の交付
- ・ アジアパラリンピック委員会(APC)等とのアジアパラ競技大会開催都市契約
- ・ テスト大会招致に向けた検討
- ・ 地域活性化ビジョンの改訂・推進

※組織委員会における取組

- ・ 大会運営計画(競技会場、宿泊、輸送、警備等)の検討
- ・ ボランティア運営基本計画の策定
- ・ マーケティング活動の推進
- ・ 大会の広報活動
- ・ OCA(アジア・オリンピック評議会)・APC との連絡、調整

②マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知等のスポーツ大会の開催

【マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知の開催】(スポーツ振興課)

- ・ マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知を開催。

《実績》

- ・名古屋ウィメンズマラソン 2024 (開催日: 2024.3.10 参加者:15,421 名)
- ・名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン 2024(開催日: 2024.3.10 参加者:11 名)
- ・名古屋シティマラソン 2024 (開催日: 2024.3.10 参加者 9,628 名)
- ・マラソン EXPO (開催日: 2024.3.8-10 来場者:101,416 名)

③県内で開催されるスポーツ大会の支援

【奥三河パワートレイルの開催支援】(スポーツ振興課)

- ・愛知県最高峰の茶臼山をスタートし、急峻な山や緑深い森、四谷千枚田などの田園風景を駆け抜ける総距離約 70 km、累積標高約 4,000mの本格的な中距離トレイルランニング大会「奥三河パワートレイル」の開催を支援。

《実績》

開催期日:2023.10.1 参加者:382 名

【アイアンマン 70.3 東三河ジャパン in 渥美半島の開催支援】(スポーツ振興課)

- ・WTC (World Triathlon Corporation) の公認により世界各地で開催されている「アイアンマン 70.3 シリーズ (スイム 1.9 キロ、バイク 90.1 キロ、ラン 21.1 キロの合計 113.1 キロ=70.3 マイル)」の国内唯一の大会である「アイアンマン 70.3 東三河ジャパン in 渥美半島」の開催を支援。

《実績》

開催期日: 2023.6.10 参加者:674 名

【RALLY 三河湾の開催支援】(スポーツ振興課)

- ・全日本ラリー選手権の1戦として蒲郡市内を中心に初めて開催された「RALLY 三河湾」の開催を支援。

《実績》

開催日:2024.3.1-3 出場台数:87 台

会場:ラグーナ蒲郡地区、周辺自治体(蒲郡市、岡崎市、豊川市、幸田町)の市道・林道 等

【FIA 世界ラリー選手権ラリージャパンの開催支援】(スポーツ振興課)

- ・ラリー最高峰に位置する世界選手権の1戦として愛知・岐阜で開催される「ラリージャパン」の開催を支援。

《実績》

開催日:2023.11.16-19 会場:豊田スタジアム及び周辺自治体の一般公道・林道・農道 出場台数:35 台

④スポーツツーリズムの推進

【東三河スポーツツーリズムの推進】(東三河総局)

- ・広域周遊ルートを活用したデジタルスタンプラリーの実施。
- ・インフルエンサーを活用したサイクリスト向け情報発信の実施。

柱 5 持続可能な観光の実現

(1)「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」の普及

GSTC 認証取得に取り組む市町村や地域の観光関係団体の支援

【観光まちづくり推進】(観光振興課)

- ・ 地域観光資源の再発掘や商品化の方法、日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)の理念等を学ぶことを目的としたグループワークの開催。
- ・ 持続可能な観光に関するシンポジウムの開催、モニターツアーの開催。

《実績》

- ・ グループワーク:2回
- ・ モニターツアー:2回
- ・ シンポジウム:2024.1.23 125名参加

(2)観光人材の確保・育成

①地域の魅力を伝えられる人材の育成

【産業観光あないびと育成】(観光振興課)

- ・ 観光ボランティアガイドを始め、活躍している方を対象に、産業観光に関する講習や産業観光施設訪問等を実施し、産業観光の知識を広く習得できる機会を提供。

《実績》

- 産業観光あないびと育成研修会
日時:2024.1.19
場所:東区文化のみち(旧豊田佐助邸)、ホーユーヘアカラーミュージアム、徳川美術館
テーマ:「名古屋城下町の歴史」
参加者:45名

②セミナーやフォーラム、ワークショップなど、知識・技能を高められる機会の提供・支援

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 5つのテーマ(歴史、自然、産業、食文化、山車・祭・伝統文化)に関する既存のガイドプログラムについて、有識者によって更なる品質向上(シナリオ化)を図るとともに、実際にガイドプログラムへの一般の参加者を募集し、催行(詳細 P14)。

(3) 観光需要の平準化

愛知県「休み方改革」プロジェクトの推進

【観光需要平準化促進】(観光振興課)

- ・ 愛知県「休み方改革」イニシアチブの周知。

《実績》

- ・ テレビCMの放映
放映期間:2023.7.3-7.16
放映局:東海テレビ、中京テレビ、CBCテレビ、メ〜テレ、テレビ愛知
放映回数:各局20回(合計100回)
- ・ 新聞広告の掲載
掲載期間:2023.7.3-7.16
掲載紙:中日新聞、朝日新聞、読売新聞、日本経済新聞、毎日新聞
掲載回数:合計6回(延べ数)
- ・ 特設サイトの開設・運営
- ・ 周知・募集チラシの制作・封緘
- ・ 賛同企業・団体の募集
賛同企業・団体数:885(2024.3月末時点)

- ・ 混雑を回避した旅行を促す「あいちスキ旅キャンペーン」を周知。

《実績》

- ・ テレビCMの放映
- ・ 新聞広告の掲載
- ・ 宿泊予約サイトとの連携
参画施設:最大 176 施設、利用者数:54,000 人以上
- ・ SNS広告の配信

- ・ 雑誌を通じた観光需要平準化のPR

《実績》

掲載回数:3回

- ・ 有給休暇の取得を促すとともに、家族と子供と一緒に過ごせる機会を提供するため、「あいちウィーク」期間中の平日に愛知県に根差した歴史・産業・自然・文化の魅力を発見し、理解を深める県民向けの「あいちの魅力発見バスツアー」を実施。

《実績》

バスツアーの実施:コース 25 本、参加者数 735 名



テレビCM

【あいち県民の日・あいちウィーク PR】(県民総務課)

- ・ 県民の日等の趣旨を周知・啓発するため、「あいちウィーク」期間中の 11 月 25・26 日の土日において、名古屋栄の「Hisaya-odori Park テレビトーヒロバ」にて、「あいち県民の日フェスタ 2023」開催。

【有給休暇取得促進】(労働福祉課)

- ・ 年次有給休暇の取得及び多様な特別休暇の導入を積極的に推進している中小企業等を奨励する「愛知県休み方改革マイスター企業認定制度」を創設。

【ラーケーションポータルサイトの開設】(義務教育課)

- ・ ラーケーションを計画する子供や保護者に対して、ラーケーションの目的や県内の学び体験スポットなどを紹介するポータルサイトを開設。

【県民の日学校ホリデー・ラーケーションの日】

(高等学校教育課、義務教育課、特別支援教育課)

- ・ 「県民の日学校ホリデー」:愛知県の公立学校(幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校)は「あいちウィーク」期間中の1日を指定して休業日とする。
- ・ 「ラーケーションの日(校外学習活動の日)」:子供たちが保護者等とともに校外(家庭や地域)で体験や探究の学び・活動を考え、企画し、実行することができる「ラーケーションの日」を設け、導入に向けた環境整備を図る。

《実績》

市町村立学校 430 校、県立高等学校 149 校及び県立特別支援学校 32 校で実施

柱 6 ウィズコロナ・ポストコロナへの対応

(1)安全・安心の強化と感染状況に応じた誘客

国・地域の実情に応じた訪日旅行の回復施策

【海外観光レップ】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 海外の現地事情に精通した「観光レップ」を4か国(タイ、ベトナム、インドネシア、アメリカ)に設置し、現地旅行会社・メディアへのセールス活動、情報発信、現地市場調査を実施(詳細 P18)。

(2)旅行スタイルの変化への対応と観光コンテンツの高付加価値化

新しい旅行スタイル(ワーケーション・ブレッジャーなど)への対応

【宿泊事業者高付加価値化促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 県内の宿泊事業者が実施する、宿泊施設のリノベーション等、高付加価値化を図る取組に対して補助金を交付(詳細 P22)。

3 2024 年度の主要な観光振興施策

2024 年度からは、新しい観光振興基本計画「あいち観光戦略 2024-2026」の計画期間となる。「あいち観光戦略 2024-2026」に掲げる「施策の展開分野」に係る主な施策は、以下のとおりである。

展開分野 I 地域資源の観光コンテンツ化

A. 高付加価値化の推進

①資源の持ち手に対する観光コンテンツ化の理解促進

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課)

- ・「食」を含んだ高付加価値な観光コンテンツの造成を促進するため、資源の持ち手・担い手(生産者や食品加工業者等)に対し、本事業に参画することで得られるメリットを紹介する説明会を実施。

【新規事業】外国人旅行者観光コンテンツ造成支援】(国際観光コンベンション課)

- ・インバウンドの受け入れに意欲がある県内施設等を対象に、海外富裕層が満足できるような「本物の体験」等を目的としたコンテンツ、及び個人旅行者が自由に旅程に組み込むことができるコンテンツの造成を支援。

【新規事業】愛知「発酵食文化」振興協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・協議会構成員及び関係者へ向けて、有識者等によるインバウンド受入の意義等の講演を行うシンポジウムを開催。

②「ツウ」な人でも満足できる観光コンテンツの造成

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・「食」を含んだ高付加価値な観光コンテンツの造成を推進するため、資源の持ち手・担い手(生産者や食品加工業者等)に対し、本事業に参画することで得られるメリットを紹介する説明会を実施。

【観光施設費等補助金】(観光振興課)

- ・ジブリパーク開園、大河ドラマ「どうする家康」の放送に伴い、2022～2024 年度の 3 か年の時限付きで、着地型旅行商品の造成・販売事業及びブランディング事業に対する補助事業を実施。

【新規事業】外国人旅行者観光コンテンツ造成支援】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・インバウンドの受け入れに意欲がある県内施設等を対象に、海外富裕層が満足できるような「本物の体験」等を目的としたコンテンツ、及び個人旅行者が自由に旅程に組み込むことができるコンテンツの造成を支援。

【新規事業】愛知「発酵食文化」振興協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・蔵元等と連携し、発酵をテーマにした体験コンテンツを 5 種類造成の上、コンテンツを組み合わせるモニターツアーを企画・実施。

【武将観光情報発信】(観光振興課)

- ・全国の武将隊や忍者隊等が集結する「サムライ・ニンジャフェスティバル」を開催。

【県陶磁美術館の活用推進】(文化芸術課)

- ・SNS による発信

- ・ 若手作家の紹介
- ・ 出張展示や出張陶芸事業の実施(長寿命化改修工事による休館期間(※))
※2023.6.19～2025.3.31

【あいち航空ミュージアムを含む共通券の販売】(航空空港課)

- ・ トヨタ産業技術記念館、トヨタ博物館及び岐阜かかみがはら航空宇宙博物館との共通券を販売。

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課)

- ・ スタジオジブリ作品に出演実績のある声優のナレーションにより、県内の観光スポットを紹介する音声ガイドツアーを実施。

③テーマ性の高い周遊観光コンテンツの造成

【愛知・岐阜広域デジタルスタンプラリー「見にトリップ・戦トリップ」】(観光振興課)

- ・ 本県の武将観光施設及び産業観光施設への集客増と広域誘客を図るため、隣接の岐阜県と連携してデジタルスタンプラリーを実施。

【歴史観光推進】(観光振興課)

- ・ 歴史ファン層をターゲットに歴史観光施設等を巡るデジタルスタンプラリーを実施。

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ スタジオジブリ作品に出演実績のある声優のナレーションにより、県内の観光スポットを紹介する音声ガイドツアーを実施。

④魅力ある観光土産品の開発

【愛知のふるさと食品コンテスト】(食育消費流通課)

- ・ 愛知県産農林水産物を活用した加工食品を新たに掘り起こし、農林水産物の利用拡大と生産振興に資することを目的に、愛知のふるさと食品コンテストを開催。

B. 持続可能性の追求

①地域資源の持続可能性を考慮した観光コンテンツの造成

【観光まちづくり推進】(観光振興課)

- ・ 広く県民等を対象に、持続可能な観光の理念に基づくツアー造成を目的としたグループワークを実施するほか、広く県民から観光振興に資する企画を募集し、優れた企画を選定・表彰。

【花の王国あいちのPR】(園芸農産課)

- ・ 「花いっぱい県民運動」によるあいちの花のPR。

【食に関する観光の推進】(農業振興課)

- ・ 「いいともあいち食の街道」、「花の王国あいちフラワー街道」の魅力を広くPRすることにより、都市と農村の交流を促進。

C. デジタル化・DXの推進

①デジタル上で稼働する観光コンテンツの造成

【愛知・岐阜広域デジタルスタンプラリー「見にトリップ・戦トリップ」】(観光振興課) -再掲-

- ・ 本県の武将観光施設及び産業観光施設への集客増と広域誘客を図るため、隣接の岐阜県と連携してデジタルスタンプラリーを実施。

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 歴史ファン層をターゲットに歴史観光施設等を巡るデジタルスタンプラリーを実施。

②デジタルベースな人流データや評価情報等に基づく観光コンテンツの造成・改善

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村・地域観光協会に対し、「あいち観光動態ウォッチャー」及び「じゃらんダッシュボード」を活用した観光コンテンツの造成・改善を支援。

【愛知・岐阜広域デジタルスタンプラリー「見トリップ・戦トリップ」】(観光振興課) -再掲-

- ・ 本県の武将観光施設及び産業観光施設への集客増と広域誘客を図るため、隣接の岐阜県と連携して実施するデジタルスタンプラリーによって、参加者属性、周遊実態等を収集・分析。

D.オープンイノベーションの促進

①観光関係者間の交流促進による観光コンテンツの造成能力の向上

【観光まちづくり推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 観光まちづくりに関心のある県民等(観光関係者を含む。)を対象にしたグループワークを実施することにより、持続可能な観光の理念に基づくツアー造成を促進。

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村・地域観光協会の職員を対象にした、観光デジタルマーケティングに関するセミナー等を通じ、EBPMによる観光コンテンツ造成能力の向上を支援。

②異業種・学術機関との連携による観光コンテンツの造成、及びその能力の向上

【観光まちづくり推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 観光まちづくりに関心のある県民等(異業種・学術機関を含む。)を対象にしたグループワークを実施することにより、持続可能な観光の理念に基づくツアー造成を促進。

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 県内外の街道観光関係者が一堂に会する講演会を開催し、有識者による講演や地域の取組事例発表、情報交換等を実施することにより、街道観光コンテンツの造成を促進。

展開分野Ⅱ PR・プロモーション

A. 高付加価値化の推進

①ターゲットを意識した情報発信プラットフォームの構築・選択・運用

【教育旅行の誘致促進】(観光振興課)

- ・ あいち教育旅行誘致促進協議会の一員として、教育旅行関係者(学校関係者、旅行会社関係者等)を対象にした Web サイト「愛知の教育旅行&体験学習ナビ」を運営。

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 地域の関係者ととも商品化した観光コンテンツの予約・販売サイトを構築・運用。

【SNS を活用した情報発信】(国際観光コンベンション課)

- ・ タイ・ベトナム・インドネシア向けの SNS アカウントを活用し、FIT 向けの投稿を実施。

【「文化財ナビ愛知」を通じた文化財情報の発信】(文化財室)

- ・ 「文化財ナビ愛知」を通じた文化財情報の発信。

【医療ツーリズム推進】(医務課)

- ・ 医療ツーリズム推進に向けた具体的な取組について協議するため、あいち医療ツーリズム推進協議会を開催。また、県内の医療機関の取組状況等を紹介した WEB サイト「愛知の医療ツーリズムナビ」において情報発信。

②運輸機関・旅行会社・OTA など送客主体と連携した PR・プロモーション

【教育旅行の誘致促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 運輸機関・旅行会社等と共にあいち教育旅行誘致促進協議会を組織し、教育旅行誘致に向けた PR・プロモーション(学校・旅行会社への訪問セールス、教育旅行送客旅行会社への補助)を実施。

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ ジブリパークのチケット販売サイト運営会社と連携し、チケット販売サイト内において、観光コンテンツを紹介・販売。

【アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 2026 年に愛知・名古屋で開催されるアジア・アジアパラ競技大会期間中等の送客が期待できる東アジア・東南アジアの旅行会社やメディア関係者を招請し、旅行商品造成や情報発信を促進。

【県営名古屋空港協議会と連携した PR・プロモーション】(航空空港課)

- ・ 航空会社と連携をしたキャラバン隊の派遣やイベントなどを実施。

【中部国際空港利用促進協議会と連携した PR・プロモーション】(航空空港課)

- ・ 航空会社と連携をしたイベントなどを実施。

【リニモ沿線地域活力創出事業】(交通対策課)

- ・ リニモ沿線施設・店舗に立ち寄るきっかけづくりやリニモに乗って周遊する動機付けとなる企画等を実施。

③商談会等の PR・プロモーション機会の提供

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 全国の旅行会社に対し、本県を目的地とする旅行商品の造成を働きかけるため、県内の市町村、観光協会、観光関連事業者等に対し、旅行会社とのオンライン商談会の場

を提供。

【韓国 FIT 向け誘客促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ ソウルで開催される旅行博覧会 (Travel Show2024) に県内観光関連事業者とともに出展。また、出展に併せ、県内観光関連事業者とともにソウル市内の旅行会社へのセールススクールを実施。

【タイ FIT 向け誘客促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ バンコクで開催される旅行博覧会 (Visit Japan FIT Fair) に県内観光関連事業者とともに出展。また、出展に併せ、県内観光関連事業者とともにバンコク都内の旅行会社へのセールススクールを実施。

【新規事業】日台観光サミットレガシーを活用した観光誘致】(国際観光コンベンション課)

- ・ 主として、2023 年に本県で開催した日台観光サミットの関係者を対象に、台北市にて現地旅行会社等との商談会・交流会の場を提供。

【アジア・アジアパラ競技大会活用誘客促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 2026 年に愛知・名古屋で開催されるアジア・アジアパラ競技大会期間中等の送客が期待できる東アジア・東南アジアの旅行会社やメディア関係者を招請し、県内観光関連事業者との商談会・交流会を実施。

【首都圏・関西圏プロモーション推進】(観光振興課)

- ・ 世界最大級の旅の祭典「ツーリズム EXPO ジャパン」に出展することにより、県内市町村・観光協会等に、PR・プロモーションの機会を提供。

【あいちの自然観光フェア開催】(観光振興課)

- ・ アウトドアファンを対象にしたイベント「DESTINATION AICHI」を開催することにより、県内の市町村・観光協会・事業者等に PR・プロモーションの機会を提供。

④大規模イベント・プロジェクトにあわせた PR・プロモーション

【地域プロモーション(官民連携組織運営)】(国際展示場室)

- ・ Aichi Sky Expo 内に県産品PRコーナーを設置。

【新規事業】国際博覧会出展参加】(国際観光コンベンション課)

- ・ 2025 年日本国際博覧会の出展に向け、出展内容の詳細を示す基本計画を策定するとともに、ステージイベント等の実施に向けて準備。

【新規事業】愛知万博 20 周年記念事業実行委員会負担金】

(愛知万博 20 周年記念事業推進室)

- ・ 2005 年に開催された愛知万博から 20 周年を迎える 2025 年に、愛・地球博記念公園において、愛知万博 20 周年記念事業を実施するため、イベント等の開催準備、調整及び広報活動を実施。

⑤航空路線・外航クルーズ船の誘致

【クルーズ船誘致促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 外航クルーズ船社等に対し、名古屋港への寄港誘致のセールスを実施。
- ・ 外航クルーズ船社等に対し、三河港への寄港誘致のセールスを実施。

【クルーズ船の誘致】(港湾課)

- ・ 常滑港におけるクルーズ船誘致に向けた取組推進。

【航空需要の拡大に向けた取組】(航空空港課)

- ・ 海外の航空会社に対するエアポートセールスの実施。

- ・ LCC を含む重点路線のアウトバウンドの促進。
- ・ 中部国際空港利用促進協議会による利用促進活動の実施。
- ・ 中部国際空港の活性化に向け、訪日外国人を対象としたツアーの造成やイベントの開催等の取組を推進。

B.持続可能性の追求

①地域資源の持続可能性を考慮した PR・プロモーション

【文化財保存事業費補助金】(文化財室)

- ・ 国・県指定及び県登録文化財の適切な維持管理のため、必要な保存修理費等の一部を所有に補助。

【山車まつりの保存・継承・魅力発信】(文化財室)

- ・ あいち山車まつり日本一協議会による山車文化の魅力の発信。

【文化芸術継承】(文化芸術課)

- ・ 「あいち伝統芸能体験教室(仮称)」開催及び「あいち伝統芸能ポータルサイト(仮称)」作成。

【三河山間地域の魅力発信】(地域振興室)

- ・ 情報誌・SNS 等を活用した三河山間地域の魅力発信及び関係人口の拡大に向けた取組の推進。

【離島の振興】(地域振興室)

- ・ SNS 等を活用した離島の魅力発信及び関係人口と連携した地域課題解決の取組の推進。

【地場産業の持続的な発展の支援】(産業振興課)

- ・ 首都圏等大都市圏の観光スポット等における日本酒等試飲・販売促進イベントの開催。
- ・ 県内観光地等における日本酒等の試飲・販売促進イベントの開催。

②観光地経営体制の持続可能性を考慮した PR・プロモーション

【新規事業愛知「発酵食文化」振興協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ 発酵食に関わる有識者、業界団体、自治体、商工・観光団体等を構成員とする協議会を設立し、地域をあげた愛知の「発酵食文化」の振興・国内外へ魅力発信。

【クレア海外事務所を通じた情報発信の支援】(国際課)

- ・ クレア海外事務所が所管する各都市で開催される各種旅行博覧会等への企業等の出展サポート、自治体の観光 PR などを支援。

C.デジタル化・DX の推進

①スマートフォン上での PR・プロモーション

【Aichi Now web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課)

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」と SNS にて、多言語で情報発信。

【中国 FIT 向け誘客促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 中国最大級の SNS「RED」において情報発信を実施。

【SNS を活用した情報発信】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ タイ・ベトナム・インドネシア向けの SNS アカウントを活用し、FIT 向けの投稿を実施。

②デジタルを活用して最適化した PR・プロモーション

【海外誘客情報活用推進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 特設サイトの閲覧者属性データ等を収集・分析するほか、インターネット・SNS で広告を

配信。

- ・ 閲覧者の属性や閲覧状況等のデータの収集・分析により、次年度以降のマーケティングに活用。

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ ジブリパークチケット購入者の属性データ等を把握し、ターゲットを設定して本県の観光に係るウェブ広告(静止画・動画)を配信。

③デジタルを活用したリアルタイムの PR・プロモーション

【Aichi Now web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」において、時期や状況に応じてスポットの情報更新、コラム、特集を作成し、発信。

D.オープンイノベーションの促進

①観光関係者間の交流促進による PR・プロモーション能力の向上

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村・地域観光協会の職員を対象にした、観光デジタルマーケティングに関するセミナー等を通じ、EBPM による PR・プロモーション能力の向上を支援。

【新規事業】日台観光サミットレガシーを活用した観光誘致】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 台湾高雄市で開催される日台観光サミットに出席し、2023 年に本県でのサミット開催で構築した台湾観光関係者とのコネクションを更に強化し、今後の観光施策に活用。

②異業種・学術機関との連携による PR・プロモーション能力の向上

【新規事業】外国人青年受入】(国際観光コンベンション課)

- ・ 自治体国際化協会(クレア)が運営する外国青年の任用プログラムを活用し、中国からの交流員を受け入れ、現地視点を取り入れた PR・プロモーション能力の向上を推進。

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 県内外の街道観光関係者が一堂に会する講演会を開催し、有識者による講演や地域の取組事例発表、情報交換等を実施することにより、街道観光に係る PR・プロモーション能力の向上を促進。

【包括協定を締結した各社店舗等での情報発信】(商業流通課)

- ・ 包括協定を締結しているコンビニエンスストアやスーパーの店舗で、パンフレットやポスターを通じて観光情報を発信。

展開分野Ⅲ 受入環境の整備

A. 高付加価値化の推進

①多様な宿泊ニーズへの対応

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 「食」を含んだ高付加価値な宿泊コンテンツの造成・販売を支援することにより、多様な宿泊ニーズに対応。

②「新たな旅のスタイル」への対応

【新規事業ワーケーション促進】(観光振興課)

- ・ 観光関連事業者に対し、ワーケーション促進に向けた視察イベントを開催。

【新規事業ブレジャー促進(あいち・なごや周遊観光パスポート)】(観光振興課)

- ・ 愛知県観光協会が発行する、平日専用の「あいち・なごや周遊観光パスポート」を広告・PR 面で支援することを通じて、出張客の「ついで観光」需要の創出と取り込みを促進。

【新規事業離島のワーケーション等推進】(地域振興室)

- ・ 離島におけるワーケーション・スタディケーションの推進。

B. 持続可能性の追求

①旅行者の属性、障がいの有無、言語、宗教・信条等に関わらず旅行を楽しめる環境づくり

【ムスリム誘客促進】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ ムスリムメディア及びムスリム留学生を招請し、宗教、信条等の特別な配慮が必要とされるムスリム旅行者に対して、本県の受入環境に係る情報を発信。

【多言語コールセンター運営】(国際観光コンベンション課)

- ・ 利用登録した観光関係事業者に対して、コールセンターを活用した多言語通訳・翻訳サービスを提供。

【なごやめし普及促進協議会】(観光振興課)

- ・ なごやめし普及促進協議会の PR 協力事業者(飲食店等)を対象に、フードダイバーシティに沿った啓発事業(ツール作成、セミナー開催等)を実施。

②地域資源の保全・活用

【新規事業愛知「発酵食文化」振興協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 発酵をテーマにした体験コンテンツの造成により、愛知県の「発酵食文化」の保全・活用を促進。

【本庁舎公開イベント】(財産管理課)

- ・ 本庁舎公開イベントの実施。

【伝統芸能の保存、継承】(文化芸術課)

- ・ 「あいち伝統芸能体験教室(仮称)」開催及び「あいち伝統芸能ポータルサイト(仮称)」作成。

③交通インフラの整備・交通アクセスの充実

【観光施設費等補助金】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村が設置する観光施設のバリアフリー化に対する補助事業を実施。

【総合的なネットワークの充実】(道路建設課有料道路室)

- ・名古屋駅への高速道路アクセスの向上及び名古屋高速道路ネットワーク全体の充実。

【名古屋駅から圏域内主要都市への「40分交通圏」の拡大】

(リニア事業推進室、都市整備課)

- ・鉄道ネットワークの充実強化に関する方策等の具体化検討。
- ・知立駅付近連続立体交差事業の推進。
- ・名鉄三河線の複線化。

【新モビリティサービス推進】(交通対策課)

- ・新モビリティサービスの普及促進に向けたモデル事業の実施。

④ 安全・安心な旅行環境の整備

【愛知県災害多言語支援センター設置】(多文化共生推進室)

- ・愛知県災害多言語支援センターにおいて、市町村職員や市町村国際交流協会職員等を対象に、災害時の外国人支援に関する知識を習得するための講座を開催。

【愛知県救急医療情報システムによる外国人への医療情報提供の実施】(医務課)

- ・外国語対応可能な医療機関に関する情報を、音声及びFAXでは5ヶ国語(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国語)、インターネットでは4ヶ国語(英語、中国語、韓国語、ポルトガル語)による外国語表示機能により提供。

【第3次あいち地震対策アクションプランの推進】(防災危機管理課)

- ・第3次あいち地震対策アクションプランに基づく各施策の実施。

C. デジタル化・DXの推進

② デジタルを活用した移動や消費の円滑化

【新規事業】ブレジャー促進(あいち・なごや周遊観光パスポート)】(観光振興課) -再掲-

- ・二次元コードを活用した「あいち・なごや周遊観光パスポート」を造成し、1台のスマートフォン(または1枚の紙チケット)で美術館・博物館等に入館できる環境を整備。

D. オープンイノベーションの促進

② 異業種・学術機関との連携による受入環境の整備促進

【歴史観光推進】(観光振興課) -再掲-

- ・県内外の街道観光関係者が一堂に会する講演会を開催し、有識者による講演や地域の取組事例発表、情報交換等を実施することにより、街道観光に係る受入環境の整備を促進。
- ・あいちの歴史観光推進協議会における情報交換及び効果的な事業実施。

展開分野Ⅳ 観光地経営体制の強化

A. 高付加価値化の推進

①観光コンテンツ造成やPR・プロモーションの能力強化

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村・地域観光協会に対し、「あいち観光動態ウォッチャー」及び「じゃらんエリアダッシュボード」を活用した観光コンテンツ造成やPR・プロモーションの取組を支援。

②観光施設等における受入力強化の支援

【なごやめし普及促進協議会】(観光振興課)

- ・ なごやめし普及促進協議会のPR協力事業者(飲食店等)を対象に、フードダイバーシティに沿った啓発事業(ツール作成、セミナー開催等)を実施。

③「ツウ」な人でも満足できる観光ガイドの育成及びガイド団体との連携強化

【産業あないびと育成】(観光振興課)

- ・ 地域で活躍する観光ボランティアガイド等を対象に、産業観光に関する講習や産業観光施設訪問等を実施し、産業観光の知識を広く習得できる機会を提供。

【全国通訳案内士指導】(国際観光コンベンション課)

- ・ 外国人に付き添い、外国語を用いて、旅行に関する案内をする全国通訳案内士の申請登録等を実施。

④県民による県内観光の促進

【あいちの魅力発見ガイドツアー実施】(観光振興課)

- ・ 「あいちウィーク」期間中に、主として県民を対象にした、県内各地・施設でのガイドツアーやガイドプログラムを実施。

【フィルムコミッション活動支援】(観光振興課)

- ・ 県内で撮影された映像作品を通じて、県民の県内観光の魅力の理解を促進。

【県人会を通じた県政PRの推進】(県民総務課)

- ・ 各県人会総会等の機会を利用して、観光情報・県政情報のPRや県政への協力を依頼。
- ・ 各県人会が推薦する者に「愛知ふるさと大使」を委嘱し、出身県及び現在住んでいる県等において、積極的な観光情報の発信や愛知県政PR活動を依頼。

B. 持続可能性の追求

①持続可能な観光地経営体制の確立

【市町村・地域観光協会等の観光地経営体制の強化】(観光振興課)

- ・ 市町村・地域観光協会等が策定する観光振興計画等への助言等。
- ・ 市町村個別ミーティング等を通じた、市町村・地域観光協会が抱える観光振興に係る課題等への助言。

②観光関連産業の労働生産性の向上と人材確保

【新規事業観光関連産業における生産性向上支援】(観光振興課)

- ・ 観光関連産業の中核である宿泊業を対象に、この地域に蓄積された「モノづくり」産業の「カイゼン」ノウハウを活用して、宿泊業の業務改善を支援することで、労働生産性を底上げ。

③観光需要の平準化

【あいちスキ旅キャンペーン実施】(観光振興課)

- ・ 混雑を回避した旅行を促す「あいちスキ旅キャンペーン」を実施。

【新規事業 ワークेशन促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 観光関連事業者に対し、ワークेशन促進に向けた視察イベントを開催。

【新規事業 プレジャー促進(あいち・なごや周遊観光パスポート)】(観光振興課) -再掲-

- ・ 愛知県観光協会が発行する、平日専用の「あいち・なごや周遊観光パスポート」を広告・PR面で支援。

【愛知県「休み方改革」イニシアチブの推進】(観光振興課)

- ・ 愛知県「休み方改革」イニシアチブ賛同企業・団体の募集を通じ、有給休暇の取得や平日・閑散期の旅行等を後押し。

【あいち県民の日・あいちウィークを契機とした「休み方改革」の推進】(県民総務課)

- ・ あいちウィーク(11/21～27)におけるイベントの企画・運営。
- ・ PR事業の企画・実施。
- ・ あいちウィークにおける公の施設の使用料等の減免。

【休暇を取得しやすい職場環境づくり】(労働福祉課)

- ・ 「愛知県休み方改革マイスター企業認定制度」の推進。

【家族と子どもと一緒に過ごせる仕組みづくり】(教育委員会)

- ・ ワークेशनを導入する学校におけるモデル事業の実施や校務支援員の配置(市町村立学校 801校、県立高等学校 149校、県立特別支援学校 32校)。

【全国知事会を通じた「休み方改革」の推進】(地方創生課)

- ・ 「休み方改革」を国民運動として展開するため、全国知事会のプロジェクトチームの活動を推進。

④地域の観光関連産業をリードする人材の育成・確保

【観光まちづくり推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 広く県民等を対象に、持続可能な観光の理念に基づくツアー造成を目的としたグループワークを実施するとともに、優れた企画を選定・表彰することにより、観光人材の育成を推進。

C.デジタル化・DXの推進

①地域における観光デジタル人材の育成・活用

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村・地域観光協会の職員を対象にした、観光デジタルマーケティングに関するセミナー等の開催。

②人流・消費データ等のデジタルデータを活用したマーケティング環境の整備

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- ・ 市町村・地域観光協会に対して、「あいち観光動態ウォッチャー」及び「じゃらんエリアダッシュボード」の利用環境を提供。

③観光DXの推進による観光関連産業の労働生産性の向上

【新規事業 観光関連産業における生産性向上支援】(観光振興課) -再掲-

- ・ 観光関連産業の中核である宿泊業を対象に、観光DXを活用した業務改善を支援

し、労働生産性を底上げ。

D.オープンイノベーションの促進

①観光関係者間の交流促進による観光地経営体制の強化

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課) -再掲-

- ・市町村・地域観光協会の職員を対象にした、観光デジタルマーケティングに関するセミナー等を通じ、EBPMによる観光経営体制の強化を支援。

【観光まちづくり推進】(観光振興課) -再掲-

- ・観光まちづくりに関心のある県民等(異業種・学術機関を含む。)を対象にしたグループワークを実施することにより、観光地経営体制の強化を促進。

②異業種・学術機関との連携による観光地経営体制の強化

【新規事業ワーケーション促進】(観光振興課) -再掲-

- ・ワーケーション施設立地自治体の地域課題を、ワーケーションモデル事業参加事業者と共に解決することを目指すリバーズピッチイベントを開催。

展開分野V MICE の誘致・開催に向けた取組強化

A. 高付加価値化の推進

①テクニカルビジット・ユニークベニュー等の開発・活用促進

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ユニークベニューを新規開発するとともに、「愛知・名古屋ユニークベニューガイド」を更新・発信。

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・テクニカルビジット(産業視察・工場見学・企業訪問等)の受入拡充に向け、現状課題の把握、需要のあるコンテンツメニューに係る調査等を実施。

②高級ホテルなどの充実

【高級ホテル立地促進】(国際観光コンベンション課)

- ・高級ホテル立地促進事業費補助金による高級ホテル新設事業者に対する補助。

③開催支援メニューの充実

【催事開催支援(展示会産業振興基金 官民連携組織運営)】(国際展示場室)

- ・Aichi Sky Expo への国際的な催事や全国的な産業見本市等の県内への誘致を通じ、展示会産業の活性化を図ることを目的として、主催者が催事の開催に要する経費の一部を補助。

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・大規模 MICE 参加者に対するおもてなしを図るため、アトラクションの派遣やギブアウェイの提供などを実施。

B. 持続可能性の追求

①持続可能な MICE に関連する国際認証の取得等に向けた取組の促進と主催者等への取組の PR

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・国内外の MICE 見本市・商談会や、ニュースレター等において、県内 MICE 施設のサステナビリティに関する取組を発信。

【施設のサステナビリティ(持続可能性)に対する取組の情報発信】

(国際観光コンベンション課)

- ・MICE 主催者等に対し、本県が持続可能性の観点から優れた開催地であることを PR するため、Aichi Now や米レップにおいて発信するニュースレター等を活用し、MICE 施設や主要ホテルのサステナビリティに関する取組の情報を発信。

②日本政府観光局(JNTO)との連携による MICE 専門人材の育成・活用等

【JNTO 研修員派遣(国際会議等誘致推進)】(国際観光コンベンション課)

- ・JNTO ロンドン事務所に職員を研修派遣し、MICE 誘致に係る手法の習得や市場動向の情報収集を行うことにより、MICE 誘致に資する優れた人材を育成。

③県民・市町村等に向けた MICE 開催効果の理解促進

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・国内外の MICE キーパーソンや旅行会社に対して発信する、愛知・名古屋の最新の

MICE 情報等をまとめたニュースレターを、MICE の開催地域における地域の機運醸成を図るため、構成団体等にも発信。

C.デジタル化・DX の推進

① デジタルを活用した PR・プロモーション

【催事開催支援(展示会産業振興基金(官民連携組織運営))】

(国際展示場室) -再掲-

- ・ Aichi Sky Expo 周辺のホテルや交通機関、観光施設など MICE の受入情報を掲載した Web サイトを運営。

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 愛知・名古屋 MICE 推進協議会の WEB サイトを通じた情報発信を実施。

D.オープンイノベーションの促進

① 経済界・学術機関との連携による国際会議と展示会・見本市の誘致

【AXIA EXPO 開催】(国際展示場室)

- ・ (株)日刊工業新聞社と連携し、スマートシティ及びその基盤となるような次世代技術をテーマとした産業展示会「AXIA EXPO 2024」を新規に立ち上げ、Aichi Sky Expo での産業展の開催実績を積むことで、展示会会場としての Aichi Sky Expo のポテンシャルを周知し、他の産業展示会の誘致を促進。

② 経済界との連携による会議と報奨・研修旅行の誘致

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) -再掲-

- ・ 中央日本総合観光機構が中部・北陸経済連合会の協力を得て実施する「企業 MICE (インセンティブ) マッチング事業」に参画し、企業会議や報奨・研修旅行の情報収集を行うとともに、企業とのマッチングを実施。

【ツーリズム EXPO ジャパン誘致推進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 「ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸」の成功に向けて、2024 年7月に地元の行政、経済団体、観光団体などの関係団体とともに、主催者の支援・協力を目的とした開催地連絡協議会を設立。

(参考)あいち観光戦略推進委員会

愛知県観光振興基本計画に定められた観光振興に関する施策の 2023 年度の実施状況に関する議会への報告及び公表に当たり、2024 年 9 月 13 日(金)に、下表の委員で構成する「あいち観光戦略推進委員会」を開催し、当該実施状況や今後の施策展開に対するご意見をいただいた。

(五十音順・敬称略)

氏名	所属・役職	出欠
板垣 彩子	独立行政法人国際観光振興機構 MICE プロモーション部 次長	出席
袁 静	株式会社行楽ジャパン 代表取締役社長	出席
◎大澤 健	国立大学法人和歌山大学経済学部 教授	出席
クリス・グレン	有限会社パスト・プレゼント・フューチャー 代表取締役	出席
鈴木 康生	名古屋市観光文化交流局観光交流部長	出席
西原 浩二	一般社団法人全国旅行業協会 愛知県支部 事務局長	出席
西村 哲治	公益社団法人日本観光振興協会 中部支部 事務局長	出席
二神 真美	名城大学 名誉教授	出席
星野 道佳	一般社団法人日本旅行業協会 中部事務局 事務局長	出席
山口 司	一般社団法人日本ホテル協会 中部支部 事務局長	欠席
○横山 陽二	東海学園大学ともいき教養教育機構・経営学部 客員教授	出席

◎…委員長、○…副委員長

2024 年度版
あいち観光戦略に基づく観光振興施策の実施状況
(2023 年度年次報告書)
2024 年 10 月発行

作成・発行
愛知県観光コンベンション局観光振興課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号
電 話 052-954-6353
FAX 052-973-3584
メール kanko@pref.aichi.lg.jp
web <https://www.pref.aichi.jp/site/tourism-promotion/>